

令和7年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

会 議 資 料



中 区

区づくり推進横浜市会議員会議

目 次

議 題

- 1 令和6年度中区個性ある区づくり推進費決算状況・・・・・・・・・・ P 1
- 2 令和6年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績・・・・・・・・ P 3
- 3 令和7年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況・・・・・・・・ P 21
- 4 令和8年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方(案)・・・・・・・・ P 37
- 5 その他

【議題 1】

令和 6 年度中区個性ある区づくり推進費決算状況

1 総括表

(単位：円)

| 予 算 区 分 | 予算現額 (A) | 決算額 (B) | 差引 (A - B) | 執行率 |
|-------------------|-------------|-------------|------------|-------|
| (1) 自主企画事業費 | 101,202,000 | 96,369,615 | 4,832,385 | 95.2% |
| (2) 統合事務事業費 | 51,602,000 | 50,862,955 | 739,045 | 98.6% |
| (3) 区庁舎・区民利用施設管理費 | 472,501,000 | 469,578,739 | 2,922,261 | 99.4% |
| 合 計 | 625,305,000 | 616,811,309 | 8,493,691 | 98.6% |

注) 区庁舎・区民利用施設管理費：当初予算額 469,671,000円から 2 月補正により、予算現額が 2,830,000円増額しています。

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位：千円)

| 施策 | 予算額 (A) | 決算額 (B) | 差引 (A - B) |
|------------------------------------|---------|---------|------------|
| 1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり (8 事業) | 19,389 | 17,633 | 1,756 |
| 2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり (7 事業) | 20,031 | 17,999 | 2,032 |
| 3 多文化共生のまちづくり (2 事業) | 13,782 | 13,961 | △ 179 |
| 4 地域の活力があふれるまちづくり (11 事業) | 26,944 | 24,561 | 2,383 |
| 5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり (2 事業) | 21,056 | 22,215 | △ 1,159 |

(2) 統合事務事業費

(単位：千円)

| 施策 | 予算額 (A) | 決算額 (B) | 差引 (A - B) |
|---------|---------|---------|------------|
| 統合事務事業費 | 51,602 | 50,863 | 739 |
| 統合事務費 | 35,871 | 34,664 | 1,207 |
| 統合事業費 | 15,731 | 16,199 | △ 468 |

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

| 施策 | 予算額 (A) | 決算額 (B) | 差引 (A - B) |
|--------------------------|---------|---------|------------|
| 区庁舎・区民利用施設管理費 | 472,501 | 469,579 | 2,922 |
| 区庁舎等管理費 (光熱水費等管理費を含む) | 120,509 | 117,479 | 3,030 |
| 公会堂管理費 (光熱水費等管理費を含む) | 43,357 | 43,388 | △ 31 |
| 地区センター等管理費 | 112,075 | 112,075 | 0 |
| ログハウス管理費 | 9,163 | 9,163 | 0 |
| 老人福祉センター等管理費 | 43,209 | 43,209 | 0 |
| コミュニティハウス管理費 | 74,273 | 74,272 | 1 |
| 区スポーツセンター管理費 | 53,950 | 53,950 | 0 |
| 区庁舎・区民利用施設修繕費 | 3,906 | 4,164 | △ 258 |
| その他 (国際交流ラウンジ・遊び場) | 12,059 | 11,879 | 180 |

注) 各欄の金額は、千円未満を四捨五入しているため、各項目の集計と合計とが符合しない場合があります。


令和6年度自主企画事業費一覧


(単位：円)


| No. | 事業名 | 予算額 | 決算額 | 差引 | 所管課 | 重点 |
|---------------------------------|-----------------------|-------------|------------|-------------|--------------------------|----|
| 1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり | | | | | | |
| 1 | 地域防災力向上事業 | 8,999,000 | 7,844,183 | 1,154,817 | 総務課 | ★ |
| 2 | 安全なまち・防犯対策推進事業 | 2,364,000 | 2,317,230 | 46,770 | 地域振興課 | |
| 3 | 交通安全啓発・放置自転車対策事業 | 1,841,000 | 1,815,243 | 25,757 | 地域振興課 | |
| 4 | みらい環境育成事業 | 1,639,000 | 1,546,278 | 92,722 | 地域振興課 | |
| 5 | 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業 | 2,000,000 | 1,998,000 | 2,000 | 区政推進課 | |
| 6 | 花・緑でまちの環境改善事業 | 500,000 | 449,790 | 50,210 | 中土木事務所 | |
| 7 | 食と暮らしの安全・安心事業 | 1,235,000 | 1,236,361 | △ 1,361 | 生活衛生課 | |
| 8 | 動物適正飼育推進事業 | 811,000 | 425,660 | 385,340 | 生活衛生課 | |
| 小 計 | | 19,389,000 | 17,632,745 | 1,756,255 | | |
| 2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり | | | | | | |
| 1 | 中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業 | 3,264,000 | 2,821,117 | 442,883 | 福祉保健課 | ★ |
| 2 | 健康アシスト事業 | 2,596,000 | 2,281,902 | 314,098 | 福祉保健課 | |
| 3 | 地域包括ケアシステム推進事業 | 2,131,000 | 1,928,135 | 202,865 | 高齢・障害支援課 | ★ |
| 4 | 障害児・者ネットワーク支援事業 | 960,000 | 646,789 | 313,211 | 高齢・障害支援課 | |
| 5 | みんなで子育て事業 | 4,280,000 | 4,041,450 | 238,550 | こども家庭支援課 | ★ |
| 6 | みんなでSTOPザ虐待 | 3,700,000 | 3,157,816 | 542,184 | こども家庭支援課 | ★ |
| 7 | なかくっこ すくすくサポート推進事業 | 3,100,000 | 3,122,259 | △ 22,259 | 区政推進課 総務課 こども家庭支援課 | ★ |
| 小 計 | | 20,031,000 | 17,999,468 | 2,031,532 | | |
| 3 多文化共生のまちづくり | | | | | | |
| 1 | 多文化共生推進事業 | 5,539,000 | 5,983,142 | △ 444,142 | 区政推進課 | ★ |
| 2 | 多文化交流事業 | 8,243,000 | 7,977,890 | 265,110 | 地域振興課 | |
| 小 計 | | 13,782,000 | 13,961,032 | △ 179,032 | | |
| 4 地域の活力があふれるまちづくり | | | | | | |
| 1 | 「中区愛」はぐくみ事業 | 1,239,000 | 1,376,167 | △ 137,167 | 区政推進課 地域振興課 | ★ |
| 2 | まちづくり推進事業 | 4,564,000 | 4,679,534 | △ 115,534 | 区政推進課 | |
| 3 | 自治会町内会活動支援事業 | 3,355,000 | 2,866,326 | 488,674 | 地域振興課 | ★ |
| 4 | みんながつながる地域づくり事業 | 1,215,000 | 811,961 | 403,039 | 地域振興課 | ★ |
| 5 | 商店街魅力アップ事業 | 3,425,000 | 3,136,041 | 288,959 | 地域振興課 | |
| 6 | インクルーシブスポーツ推進事業 | 2,295,000 | 1,754,187 | 540,813 | 地域振興課 | |
| 7 | スポーツ・青少年事業 | 3,440,000 | 3,137,076 | 302,924 | 地域振興課 | |
| 8 | 区民活動支援事業 | 2,786,000 | 2,261,758 | 524,242 | 地域振興課 | |
| 9 | 中区民祭り「ハローよこはま」 | 2,925,000 | 2,925,000 | 0 | 地域振興課 | |
| 10 | 都市間交流事業 | 700,000 | 398,990 | 301,010 | 総務課 区政推進課 | |
| 11 | 中区制100周年準備事業 | 1,000,000 | 1,214,084 | △ 214,084 | 総務課 | |
| 小 計 | | 26,944,000 | 24,561,124 | 2,382,876 | | |
| 5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり | | | | | | |
| 1 | 区役所サービス環境向上事業 | 15,754,000 | 17,415,034 | △ 1,661,034 | 総務課 | ★ |
| 2 | 広報・案内事業 | 5,302,000 | 4,800,212 | 501,788 | 区政推進課 | |
| 小 計 | | 21,056,000 | 22,215,246 | △ 1,159,246 | | |
| 合 計 | | 101,202,000 | 96,369,615 | 4,832,385 | | |

令和6年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績【議題2】

1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|--|---|
| 1 地域防災力向上事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策35 施策2 | | 中区防災計画に基づき、能登半島地震等の経験も踏まえ、地域防災力のさらなる向上と区の防災体制の強化を図りました。特に、令和6年度は共同住宅への啓発を強化しました。 |
|  職員によるハマッコトイレ設置訓練の様子 | | (1) 減災行動啓発事業 ア 地域及び企業等に対する減災支援（講話、啓発等） （地域：37回 延べ2,238人、企業：5回 延べ800人） イ 共同住宅に特化した啓発 （ア）マンション防災アドバイザー派遣（20回） （イ）共同住宅の管理組合等を対象にした広報等（11回 延べ368人） ウ オンライン防災講演会の開催（7年3月配信 約500回再生） エ 地震・風水害・崖防災対策等の啓発 コミュニティFM等と連携した防災情報の発信（毎月1回）、 即時避難指示対象区域への早期避難行動等の啓発（5月 約100世帯） オ 外国人を対象とした防災啓発（7回 延べ194人） カ 防災・減災ツールの普及啓発（避難ナビチラシ 約8,500枚配布等） |
| 予 算 額 | | 8,999千円 |
| 決 算 額 | | 7,844千円 |
| 差 引 | | 1,155千円 |
| 所 管 課 | | 総務課 |


| 事業名 | | 事業内容 |
|--|--|---|
| 2 安全なまち・防犯対策推進事業 横浜市中期計画2022～2025 政策9 施策4 | | 「中区民暮らし安全推進協議会」を中心に、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となって防犯活動に取り組みました。 特に近年多発している特殊詐欺被害の啓発イベントやキャンペーン、地域に向けた情報発信を中心とした防犯対策を推進しました。 |
|  寄席de防犯 | | (1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業 ア 中区民暮らし安全推進協議会総会の開催（5月24日） イ 各種防犯キャンペーンの実施 街頭犯罪抑止対策早朝駅頭キャンペーン（6月10日） ウ 中区民祭り「ハローよこはま2024」へのブース出店（11月10日） エ 寄席de防犯（7年2月21日 200人） オ 4警察・3防犯協会、防犯協力会・区役所合同会議（9月25日） カ 地域自主防犯活動委員会の開催（各地区連防犯担当者会議） （5月、7月、9月、11月、7年3月 計5回開催） キ 防犯情報配信 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール等を活用して配信 |
| 予 算 額 | | 2,364千円 |
| 決 算 額 | | 2,317千円 |
| 差 引 | | 47千円 |
| 所 管 課 | | 地域振興課 |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 3 交通安全啓発・ 放置自転車対策事業 | | 区内で発生する高齢者や自転車の交通事故防止及び自転車・バイクの放置防止を推進するため、各警察署や地域の関係団体と連携したキャンペーン等の啓発活動に取り組みました。 |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策28 | 施策3 | |
|  | | |
| 令和6年度交通安全こども ポスターコンクール 金賞作品 | | |
| 予 算 額 | 1,841千円 | |
| 決 算 額 | 1,815千円 | |
| 差 引 | 26千円 | |
| 所 管 課 | 地域振興課 | |


| |
|--|
| (1) 交通安全啓発事業 |
| ア 中区交通安全対策協議会への支援 |
| イ 中区交通安全こどもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用 (中区交通安全対策協議会共催) (7月～12月 応募総数105点) |
| ウ スクールゾーン対策の実施(5月～7年3月) |
| エ 各団体への補助金を交付(5月、6月) |
| オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 |
| カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 |
| キ 小学生向け「サイクルルールブック」啓発冊子を配布(4月～11月) |
| ク 保護者向け自転車マナー啓発チラシを配布(6月) |
| ケ 中区役所内のデジタルサイネージに自転車マナー啓発画像を表示 |
| (2) 放置自転車対策事業 |
| ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 |
| イ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び協力 |
| ウ 放置自転車等移動要望への対応 |


| | |
|---|--|
| <参考> (道路局予算) | |
| ・スケアードストリート (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室 (港中学校：雨天中止) | |
| ・放置自転車等監視業務の実施 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|--|
| 4 みらい環境育成事業 | | <p>一般廃棄物処理基本計画【ヨコハマプラ5.3 計画】の目標である、「燃やすごみに含まれるプラスチックごみの量を2030年度までに2万トン削減」の達成に向け、区民・事業者・行政が協働し、削減に取り組みました。</p> <p>また、SDGsの達成に向け、食品ロスや海洋プラスチックごみの削減に取り組みました。</p> <p>(1) ヨコハマプラ5.3計画推進活動</p> <p>ア 各種イベント参加(4回)区役所1階分別相談窓口(毎月2回)</p> <p>イ 区庁舎内に設置する資源回収ボックスによるごみの資源化・減量化 小型家電、リユース文庫(3,996冊)、水銀含有製品回収(34個)等</p> <p>ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業(10団体に貸出)</p> <p>エ フードドライブ活動を実施(599点)</p> <p>(2) まちの美化対策事業</p> <p>ア 中区クリーンアップDAY!2024を実施(6月1日 約350人)</p> <p>イ 区民・事業者・ボランティア団体による清掃活動 (3団体 約600人)</p> <p>ウ まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援(9団体)</p> <p>エ 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ(9回 約420人)</p> <p>オ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策を実施</p> <p>カ 外国人への啓発として分別講座の実施(全4回)</p> <p>(3) 美化推進者表彰</p> <p>まちの美化推進に貢献した個人・団体へ区長感謝状贈呈 個人: 9名、団体: 6団体、区長特別表彰: 1団体(7年3月13日)</p> |
| 横浜市中期計画2022~2025 | | |
| 政策19 | 施策1 | |
|  | | |
| 中区クリーンアップDAY!2024 | | |
| 予算額 | 1,639千円 | |
| 決算額 | 1,546千円 | |
| 差引 | 93千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 5 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業 横浜市中期計画2022～2025 政策29 施策2 | | <p>まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、都市整備局、にぎわいスポーツ文化局、市民局と連携しながら、地元協議会の活動に対する補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を行いました。</p> <p>また、まちの活性化には更なる活動の参画者・担い手を増やしてることが重要であるため、地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に関わる団体だけではなくアーティストとも連携し、子どもが参加する取組や大岡川周辺の環境改善など、各テーマに沿ったまちづくり活動を行いました。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助</p> <p>ア 協議会定例会等の開催（総会1回、定例会5回、役員会5回）</p> <p>イ 防犯啓発活動イベント等の開催（防犯パトロール10回、防災訓練10月13日実施、清掃活動等）</p> <p>ウ 広報活動（まちづくりニュースの発行計4回、打ち水イベントを8月3日に実施）</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化</p> <p>ア 協議会等に係る各種会議の運営・開催支援</p> <p>イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援</p> <p>ウ まちづくりに関するイベント、ワークショップ等の企画立案（はつこひトーク 9月、7年3月）</p> <p>エ 地域活動に係る広報活動の支援（まちづくりニュースの編集、ホームページ運営支援等）</p> |
|  <p>防災訓練の際の水上物資輸送の様子</p> | | |
| 予算額 | 2,000千円 | |
| 決算額 | 1,998千円 | |
| 差引 | 2千円 | |
| 所管課 | 区政推進課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|--------|--|
| 6 花・緑でまちの環境改善事業 横浜市中期計画2022～2025 政策9 施策2 | | <p>区民（自治会、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行いました。</p> <p>また、夏場の省エネや温暖化対策の普及啓発を目的とした、区内の小学校等への花緑のカーテンの設置や種まきイベント、園芸講習会の開催を通じてGREEN×EXPO 2027の機運醸成に取り組みました。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業</p> <p>ア 花苗提供（2,000株）</p> <p>イ プランター設置・維持管理（9か所） 実施箇所：本牧埠頭交番前、大和町、柏葉公園、長者町（長者町5丁目交差点付近）、山手駅、開港広場公園、竹之丸（竹之丸保育園付近）、鷺山公園、福富町西公園</p> <p>ウ 種まきイベント（春・秋）（6か所 延べ260人） 実施箇所：錦保育園、山手保育園、太陽の子 不動下保育園、横濱中華幼保園、保育園ばんびーな、竹之丸保育園</p> <p>エ 花緑のカーテン設置（4箇所） 実施箇所：横浜訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所、中区役所</p> <p>(2) 普及啓発事業 園芸講習会（2回 延べ50人）</p> |
|  <p>不動下保育園の子どもと行った種まきイベントの様子</p> | | |
| 予算額 | 500千円 | |
| 決算額 | 450千円 | |
| 差引 | 50千円 | |
| 所管課 | 中土木事務所 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 7 食と暮らしの安全・安心事業 | | <p>食品取扱施設、環境衛生関係施設等に対する監視指導や、事業者・消費者に対する衛生教育、情報発信により、食中毒等の健康被害の予防及び拡大・再発防止を図り、区民の食と暮らしの安全・安心を確保する取組を実施しました。</p> <p>(1) 生活衛生関係施設の衛生確保支援事業</p> <p>ア 生活衛生関係施設の衛生対策</p> <p>(ア) 効果的な監視指導</p> <p>監視指導件数：3,600件（うち中華街一斉監視：200件（6～7月））</p> <p>(イ) イベント等での食品衛生指導、法改正周知</p> <p>衛生指導件数：350件</p> <p>イ 社会福祉施設への食中毒等予防支援</p> <p>立入指導、郵送啓発：132件（主に7年1～3月）</p> <p>(2) 暮らしの安全に関する情報発信事業</p> <p>ア 衛生講習会等</p> <p>講習会：30回 1,716人（中華街向け講習会（3回 150人）を含む。）</p> <p>イ 区民向け啓発等（食中毒予防、ハチ・蚊、トコジラミ、ネズミ）</p> <p>区庁舎本館広告モニター等での動画再生、別館でのパネル展示、広報よこはまなか区版での啓発（5月、7月、11月、12月）</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン</p> <p>飛鳥Ⅱキッズツアー（8月 40組80人参加）、中区民祭り「ハローよこはま2024」で食の安全に係る啓発を実施（11月 500人参加）</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策7 | 施策2 | |
|  | | |
| 監視指導時に配布する中国語チラシ | | |
| 予算額 | 1,235千円 | |
| 決算額 | 1,236千円 | |
| 差引 | △1千円 | |
| 所管課 | 生活衛生課 | |


| 事業名 | | 事業内容 | |
|---|-------|--|--|
| 8 動物適正飼育推進事業 | | ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組みました。 また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施しました。 | |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | | |
| 政策35 | 施策5 | | |
|  | | | |
| 中区動物適正飼育講習会動画 （有事に備えたハウストレーニングの様子） | | | |
| 予算額 | 811千円 | (1) 動物適正飼育推進事業 ア 狂犬病予防注射出張会場において、中区獣医師会と連携して、犬の飼い主への啓発を実施（4月 4会場 220頭） イ 本牧ハワイアンフェスタ、中区民祭り「ハローよこはま2024」、ドッグフェスタ、防災フェアにおけるイベント来場者に中区獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携し、来場者への啓発を実施（9月、11月、12月、7年2月） ウ 犬の放し飼い等の苦情が寄せられた根岸森林公園において施設の管理者等と連携し、散歩中の飼い主に対し、啓発を実施（9月 60人） また、飼い主のいない猫への給餌に関する苦情が寄せられた本牧山頂公園において啓発、指導を実施（7年2月 延べ30人） エ 区民が飼い主のいない猫対策として実施する地域猫活動の支援や機材の貸出し（捕獲器貸出し7件） | |
| 決算額 | 426千円 | (2) 災害時ペット対策推進事業 ア 広報よこはま区版でペット災害対策の啓発（9月） イ マリンFMで飼い主向けにペット災害対策について発信（9月） ウ 地域防災拠点の拠点訓練等においてペット災害対策の啓発、同行避難訓練検討等の支援（拠点訓練：2拠点 445人 運営委員会：4拠点） | |
| 差引 | 385千円 | | |
| 所管課 | 生活衛生課 | | |

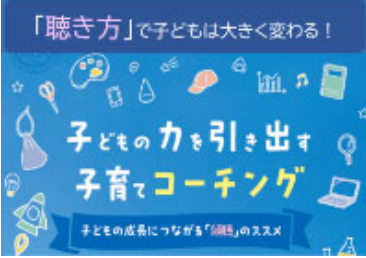
2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり


| 事業名 | | 事業内容 |
|--|---------|---|
| 1 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策10 施策1 | | <p>誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らせるまちにするための中区地域福祉保健計画を広く周知し、地域の福祉保健に関する活動を推進しました。</p> <p>(1) 第5期計画骨子策定 ア 第5期計画の骨子を確定(7年3月) イ 第5期策定に向けたグループインタビュー実施(10月 3回)</p> <p>(2) 中なかいいネ！推進会議の開催 ア 区推進会議：2回(6月、7年3月) 地区別推進会議：49回(13地区延べ数) イ 有識者による計画策定・推進についての助言 事務局会議(区・区社協・ケアプラザ)での具体的な助言(8回) ウ 地域支援チーム会議の開催：83回(13地区延べ数)</p> <p>(3) 第4期計画PR ア 中なかいいネ！発表会(7年2月 158人来場) 区計画概要版、地区別計画の配布 イ 広報よこはま なか区版での広報(6回) ウ 地域活動の多言語チラシ作成、イベントへの通訳派遣依頼(10件) エ 計画周知のための「中なかいいネ！」PRグッズの作成 オ 計画推進月間パネル展示(7月)</p> <p>(4) 人材育成 地域支援従事者研修実施(11月 2回 71人)</p> |
|  <p>中なかいいネ！パネル展</p> | | |
| 予算額 | 3,264千円 | |
| 決算額 | 2,821千円 | |
| 差引 | 443千円 | |
| 所管課 | 福祉保健課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 2 健康アシスト事業 横浜市中期計画2022～2025 政策7 施策1 | | <p>区民が自身の健康に関心を持ち、身近な健康づくりが実践できるよう、健康教育やウォーキング等の健康づくり活動の支援・啓発を行いました。</p> <p>(1) 健康ナビゲーション事業 子育て世帯向けに健康測定等を行い、健康づくりのきっかけを提供 ア 乳幼児健診(16回 335人) イ 健康づくりのイベント・地域での出張講座等(9回 273人)</p> <p>(2) てくてくウォーキング事業 各地域でのウォーキング活動を定着させるためイベント等を開催 ア 子育て支援拠点でのイベント(7月 14人) イ 地域へのウォーキング講師派遣(1回 15人) ウ 保健活動推進員と協力してウォーキングガイドブック改定</p> <p>(3) 中区健康づくり月間事業(元気フェスタ21) 区民祭りの場を活用し、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の関係機関と連携した健康増進啓発活動を実施(11月 約4,000人)</p> <p>(4) 食育推進事業 食育月間に合わせた啓発や食育の関係団体向け研修や会議を開催 ア 食育展(6月 59人) イ 食育イベント(3回 262人) ウ 食育従事者向け研修(7年2月 25人) エ 食育ネットワーク会議(7年3月 7団体 9人)</p> <p>(5) 歯科口腔保健対策事業 子育て支援拠点や老人クラブ等と連携し、口腔疾患の予防と健康増進の講座や啓発を実施。 ア 歯科講座や啓発イベント(16回 257人)</p> |
|  <p>中区食育マルシェ</p> | | |
| 予算額 | 2,596千円 | |
| 決算額 | 2,282千円 | |
| 差引 | 314千円 | |
| 所管課 | 福祉保健課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|----------|---|
| 3 地域包括ケアシステム推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策15 施策1 | | <p>「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」(4年3月策定)に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めました。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援し、地域の交流・介護予防活動を支援しました。 ア 老人クラブ連合会行事への補助、開催支援 老人福祉大会(9月19日 282人)、グラウンドゴルフ大会(5月27日 58人、10月21日 59人)、ふれあい運動会(12月13日 350人)、ノルディックウォーキング(年6回 計66人) イ 老人クラブの加入促進(チラシ印刷、加入促進グッズ購入・配布) ウ 敬老月間事業 区内特養入所者あて祝品贈呈(全2か所)</p> <p>(2) 介護予防事業 ア 介護予防を目的とした通いの場等への参加勧奨と高齢者の健康づくり推進のためスタンプラリーを実施(6～10月 延べ303人) イ 介護予防普及啓発イベント「春の健康チェック祭り」を実施(7年3月25日 フレイルチェック・体力測定など 125人)</p> <p>(3) 認知症支援事業 ア 認知症高齢者等の介護者を対象とした、臨床心理士による個別相談を実施(16回 24人) イ 認知症への理解や地域の見守りの充実に向けた、啓発物品の作成・活用</p> |
|  <p>ふれあい運動会 (中区老人クラブ連合会)</p> | | |
| 予算額 | 2,131千円 | |
| 決算額 | 1,928千円 | |
| 差引 | 203千円 | |
| 所管課 | 高齢・障害支援課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|--|----------|--|
| 4 障害児・者ネットワーク支援事業 横浜市中期計画2022～2025 政策13 施策1 | | <p>障害のある人がその人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくりました。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制を充実させました。 ア 自立支援協議会の開催(事務局会議38回、専門部会26回、5月16日代表者会議、6月20日・7年3月12日合同担当者会議) イ 支援者のスキルアップを目的とする研修会開催(4月23日個人情報保護研修14人、6月20日防災研修25人、7月23日権利擁護研修33人、9月11日BCP研修37人、11月8日ハウジングファーストの理念と実践28人、7年2月21日カスタマーハラスメント研修55人) ウ 計画相談支援の利用促進に向けた調査検討、試行実施(検討会3回)</p> <p>(2) 障害理解・販路拡大推進事業 障害者の社会参加及び障害理解の推進を図るため、ポレポレグッズ(障害者作業所製品)の販売活動の支援等を行いました。 ア ポレポレグッズカタログ紹介カードの作成 イ 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会事業運営費の補助 ウ 販路拡大委員会、ナカナ・カフェ運営委員会開催支援(各6回) エ 区役所内定期販売会の支援(13回、うち1回、12月3日ポレポレマルシェ)、中区SDGsマルシェでの販売支援(12回)、市庁舎販売会(7月8日)ほか各種行事等への出店支援 オ プロスポーツチームと連携した横浜武道館等でのポレポレグッズの販売(武道館販売4月、5月、7月、10月、12月、7年2月)</p> |
|  <p>ポレポレグッズ紹介カタログ</p> | | |
| 予算額 | 960千円 | |
| 決算額 | 647千円 | |
| 差引 | 313千円 | |
| 所管課 | 高齢・障害支援課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|--|----------|---|
| 5 みんなで子育て事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策1 施策4  コンパス事業 | | 子育て中の方が身近な地域で安心して子育てできるよう、また、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、行政が地域や家庭と連携し、地域全体で子育てのできる環境づくりに取り組みました。 |
| | | (1) ピースフルファミリー事業 主に父親を対象に、夫婦・パートナーが協力して子育てを楽しむための講座を実施(10月、7年1月、2月実施 43人) |
| | | (2) コンパス事業 不安や悩みを抱える人が心豊かに子育てができるよう、専門家による子育て講座を実施(6月2回実施 42人) |
| | | (3) 保護者向け保育所等情報提供 「中区保育所等のしおり」を作成し、認可保育所、地域ケアプラザ等で配布(10月 3,500部) |
| | | (4) おでかけスポットマップ 子育て支援施設の情報をまとめたマップの作成 (8月(「パマトコ」開設に伴う改訂) 2,500部、7年3月 3,500部) |
| | | (5) 外国人向け両親教室 外国語を母語とする方向けの両親教室を実施(6月6日 2組) |
| | | (6) 中国語窓口案内補助 手続・相談等に対応するため、中国語通訳を配置 |
| | | (7) 保育園園児駅伝大会・龍舞体験 中区内保育園5歳児による駅伝大会を実施(11月 全30園参加) 区内保育園で子どもが龍舞を体験する機会を提供 (7年1月27日 11園参加) |
| 予算額 | 4,280千円 | |
| 決算額 | 4,041千円 | |
| 差引 | 239千円 | |
| 所管課 | こども家庭支援課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|--|----------|--|
| 6 みんなでSTOP ザ虐待★ 横浜市中期計画2022～2025 政策4 施策1  子ども向け児童虐待防止啓発のしおり | | 安心して子育てできるよう、子どもや保護者が相談しやすい環境を整え、育児力を高める場や仲間作りの場の提供に取り組みました。 |
| | | (1) 児童虐待対応力向上事業 児童虐待対応力強化のため区職員を対象に弁護士をスーパーバイザーとした事例検討会を実施(7月14日 24人、7年1月24日 21人) |
| | | (2) 育児を学ぶ教室・講座 親が育児について相談したり学んだりする子育て講座を実施 ア ベビーマッサージ教室(12回 参加親子延べ106人) イ もっと子育てを楽しもう講座(10月～11月・3回連続講座 27人) |
| | | (3) 学齢期家庭向け支援事業 虐待の早期介入と早期支援のため、子どもが気軽に相談できる環境を整えると共に、地域の関心を高められるよう、啓発事業を実施 ア 区内の小学4年生～中学3年生に啓発のしおりを配布(2月3,890人) イ 公共施設等のデジタルサイネージによる啓発動画周知(11～3月) ウ 啓発ポスターの掲示(掲示期間：11月～7年3月) |
| | | (4) 赤ちゃん学級 1歳未満の第1子の親を対象にした育児教室を実施 (7会場・各会場10回/年 66回 参加親子延べ1,030人) |
| | | (5) 乳幼児健診の充実に関する事業 乳幼児健診について、きょうだい児連れの方等が受診しやすいように保育ボランティアを配置(48回) |
| | | (6) 相談業務強化事業 各種手続を含め区民の相談に丁寧に対応するための相談員の配置 (窓口対応総件数 4,723件) |
| 予算額 | 3,700千円 | |
| 決算額 | 3,158千円 | |
| 差引 | 542千円 | |
| 所管課 | こども家庭支援課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|--------------------------|---|
| 7 なかくっこ すくすくサポート 推進事業★【新規】 | | <p>横浜市中期計画の基本戦略の実現に向け、各課の子ども・子育てに関する取組を「なかくっこすくすくサポート」としてまとめ、庁内プロジェクトで議論しながら推進しました。</p> <p>「なかくっこ自由研究大作戦」の題材や配布先を拡充したとともに、庁内プロジェクトの議論や子育て当事者の意見をもとに創出した取組として、区全域の子ども・子育てネットワーク連絡会の創設や、こども家庭支援課の利用者がより分かりやすくなるように、区庁舎5階の案内サインの見直し等による区庁舎環境の整備を行いました。あわせて、共通ロゴマークを幅広く活用し、子ども・子育てに関する取組を区役所一丸となって進めました。</p> <p>(1) なかくっこ自由研究大作戦2024 (450千円) リーフレットを私立学校等を含む区内小学校に広く配布し、新たに民間事業者等が実施する題材を拡充して実施しました。 (7月、8月、計18題材、保護者・児童含め689人)</p> <p>(2) 子ども・子育て支援ネットワーク推進事業 (300千円) 区全域の子ども・子育てネットワーク連絡会を創設し、外部有識者によるアドバイスをもとに子育て関係団体の横のつながりの強化を図りました。また、子育て当事者を交えたワークショップなど、地域課題に対応した取組を進めました。 (全体会1回、地区別6地区全18回、当事者会議2回)</p> <p>(3) 子育て世代にやさしい庁舎内サイン等整備事業 (2,350千円) こども家庭支援課への案内サインを分かりやすく改修する等、子育て世代が手続きしやすい区庁舎環境を整備しました。</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策1 | 施策4 | |
|  | | |
| 庁舎内サイン | | |
| 予算額 | 3,100千円 | |
| 決算額 | 3,122千円 | |
| 差引 | △22千円 | |
| 所管課 | 区政推進課 総務課 こども家庭支援課 | |


3 多文化共生のまちづくり

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 1 多文化共生 推進事業★ | | 「中区多文化共生推進アクションプラン」に基づき、国籍やルーツによらず、誰もが地域の一員として、安心して自分らしく暮らせる多文化共生のまちづくりを進めました。 |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策11 | 施策3 | |
|  | | |
| 多言語広報紙夏号 (7月1日発行) | | |
| 予算額 | 5,539千円 | (1) 中区多文化共生推進アクションプラン推進事業 ア 地域住民向け「やさしい日本語講座」開催(7年3月 計22人) イ 環境と共生の啓発イベント「なかNAKA環×共フェス」にて「外国の遊び」ブースを出展(7年3月 イベント全体で計150人来場) |
| 決算額 | 5,983千円 | (2) 多言語広報紙発行业 中区在住の外国人住民に役立つ生活情報や行政情報等を掲載した広報紙を、英語(4,200部)、中国語(4,400部)、日本語(1,000部)で発行しました。(7月、10月、7年1月、4月) |
| 差引 | △444千円 | (3) 多言語ホームページ運営事業 広報よこはま・なか区版掲載情報や生活情報等を、英語、中国語、ハングル、やさしい日本語で発信しました。(月1～2回更新) |
| 所管課 | 区政推進課 | (4) 多文化共生調査事業 ア 中区在住の外国人住民の生活実態を把握するため、国籍・在留資格別の人口の経年変化を調べる外国人数基礎調査を実施(4月～9月) イ 外国人住民の生活実態のインタビューを行う外国人意識調査を実施(4月～12月で実施 計20人の外国人住民に調査) |
| | | (5) 外国人向け情報発信スポット拡充事業 より多くの外国人住民に生活情報をお届けできるよう、外国人住民が集まる場所(飲食店、雑貨店、病院、日本語教室等)に多言語くらし情報案内ウェブサイトのパスターを掲示(47か所) |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|--|
| 2 多文化交流事業 | | <p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めました。</p> <p>(1) 地域連携・人材育成事業</p> <p>ア 地域連携事業 地域ヒアリング（実施10回）</p> <p>イ 人材育成事業</p> <p>(ア) 学習支援教室（実施39回）</p> <p>(イ) 外国につながる若者の居場所（実施39回）</p> <p>ウ 多文化共生ボランティア養成講座（5回 延べ73人）</p> <p>エ ボランティア日本語教室連絡会の開催（2回 延べ27人）</p> <p>(2) 日本語学習支援事業</p> <p>ア 定期教室：前期：5～9月、後期：11～7年3月 各20人 30回実施）</p> <p>イ スタート教室：5～7年3月 週2回（10名 10回／期 全6期）</p> <p>(3) 多文化共生理解事業</p> <p>ア 多文化共生理解講座、イベント等の実施（年7回）</p> <p>イ 中区多文化フェスタ開催（年1回 12月7日）</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア活用事業</p> <p>対応言語：中国語、英語（26件）</p> <p>(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施</p> <p>対応言語：中国語、英語（47件）</p> <p>＜参考＞生活ガイダンス事業（国際局予算）</p> <p>転入外国人向けにタブレットを活用した生活ガイダンスを実施</p> <p>＜参考＞地域連携強化事業（国際局予算）</p> <p>外国人集住地域での課題解決を図るコーディネーターが、地域活動の実行委員会等への参加や連携地域での多文化共生事業等を実施</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策11 | 施策3 | |
|  | | |
| にじいろ大合戦の様子 | | |
| 予算額 | 8,243千円 | |
| 決算額 | 7,978千円 | |
| 差引 | 265千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |

4 地域の活力があふれるまちづくり

| 事 業 名 | | 事 業 内 容 |
|---|----------------|---|
| 1 「中区愛」はぐくみ事業★ | | <p>広く中区で親しまれている区の花「チューリップ」や横浜開港の歴史と異国情緒を感じさせる街並み・スポットなど、様々な中区の魅力を区民や大学・企業等と連携して、発信・再発見することで地域への愛着を育み、地域の活性化・元気づくりに繋がりました。</p> <p>(1) チューリップであふれるまち事業 ア 地域交流等を目的としたチューリップ植付イベント用に町内会へ球根を配布（6月ヒアリング、11月に計3,600個配布） イ チューリップ球根植付けイベントの実施（11月9日 計46人参加） ウ チューリップの写真募集（3月～5月 計47人投稿）</p> <p>(2) 魅力マップ活用事業 「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」を活用したまち歩きイベントを実施（10月31日 計20人）</p> <p>(3) 大学・企業等連携事業 ア 大学生の区役所での職場体験（8月～9月 計9人） イ 小学生向けのファンケルSDGs講座（8月18日、58人の親子が参加） ウ 環境と共生の啓発イベント「なかNAKA環×共フェス」にて関東学院大学による「カンボジアソーラーランタンプロジェクト」のブース出展（3月 イベント全体で計150人来場）</p> <p>(4) 中区って「イネ！」フォトコンテスト2024 観光マップでは見ることができない、「私のまちにある」「わたしのまちから見える」行事や風景、地域活動の様子など、中区の魅力を捉えた写真を募集しました。また、入賞作品の展示等を行い、中区の魅力を積極的にPRしました。 （募集：7月1日～7年1月24日 応募作品：297点）</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策10 | | |
|  | | |
| 横浜マリナタワーでの 中区フォトコンテスト作品展 | | |
| 予 算 額 | 1,239千円 | |
| 決 算 額 | 1,376千円 | |
| 増 △ 減 | △137千円 | |
| 所 管 課 | 区政推進課 地域振興課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 2 まちづくり推進事業 | | <p>中区は、住宅環境をはじめ、商業、港、観光、文化・芸術、国際性などの多様な魅力がある横浜市の中心です。安心して生活し、働き、訪れたい魅力的な中区の実現を目指してまちづくりを進めました。</p> <p>区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行いました。また、地域の活性化に向け、公共空間における賑わい創出の取組を実施しました。</p> <p>(1) 地域まちづくり活性化事業</p> <p>ア 地域の賑わい創出の取組</p> <p>大岡川右岸のうち長者橋から旭橋までの区間を対象に、「道路空間活用社会実験」を実施しました。(10月14日)</p> <p>イ まちづくり団体のルール運用・新規ルールづくり等の支援</p> <p>(ア) まちづくり活動を行っている区民や団体を支援するため定例会等へ参加(通年)</p> <p>(イ) 本郷町3丁目地区の地域住民が組織するまちづくり協議会の活動支援(10回)</p> <p>(2) SDGs・脱炭素化推進事業</p> <p>ア 中区SDGsマルシェの開催(14回)</p> <p>中区役所別館横駐車スペースでの実施(毎月第2水曜日)</p> <p>Yokohama Triathlon Festival ハマトラFESへの出展(5月14日)</p> <p>中区民祭り「ハローよこはま2024」への出展(11月12日)</p> <p>イ 「なかくっこ自由研究大作戦」でのSDGs企画の実施(8月9日)</p> <p>(3) 区民意識調査事業</p> <p>住民基本台帳から区内在住の18歳以上の方4,000人を無作為に抽出し調査票を郵送しました(有効回収数1,939件、有効回収率48.5%)。</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策29 | 施策2 | |
|  | | |
| 本郷町3丁目地区 防災訓練の様子 | | |
| 予算額 | 4,564千円 | |
| 決算額 | 4,680千円 | |
| 差引 | △116千円 | |
| 所管課 | 区政推進課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 3 自治会町内会活動支援事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策9 施策1 | | <p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携・協力関係を深めました。自治会町内会への加入を促進し暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援しました。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進 加入促進チラシの配布や新規建築マンション管理組合への働き掛けなど新たな自治会町内会の設立や加入を支援しました。(延べ419戸)</p> <p>(2) 町内会掲示板整備補助事業 地域住民の福祉の向上、災害情報提供等を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備についてその経費の一部を補助しました。(9件)</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会 市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表するため、表彰式・感謝会を開催しました。(7年3月5日 表彰者20人)</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援 自治会町内会実務担当者向け研修会や区連会定例会等を通じ、自治会町内会の活動を支援しました。(研修会 4月3日、20日 65人)</p> <p>(5) 学生連携事業 関東学院大学の学生と自治会町内会長との意見交換など若者と地域との関わりの場を創出しました。また、学生が現場での体験と提言をまとめ、12月に発表会を実施しました。</p> <p><参考> (市民局予算) ・地域活動推進費補助金・防犯灯維持管理費補助金 ・自治会町内会館整備補助金</p> |
| 予 算 額 | 3,355千円 | |
| 決 算 額 | 2,866千円 | |
| 差 引 | 489千円 | |
| 所 管 課 | 地域振興課 | |





自治会町内会加入促進
(埋地ミニ夏祭り)


| 事業名 | | 事業内容 |
|--|---------|--|
| 4 みんながつながる地域づくり事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策9 施策2 | | <p>地域活動への参加のきっかけづくりや地域人材の発掘・育成につながる、自治会町内会をはじめとした地域の様々な主体が連携・協働して取り組む、主体的・継続的な地域の課題解決や魅力づくりの活動を支援しました。</p> <p>(1) 地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業 地域が自主的に、各種団体と連携しながら、地域を盛り上げる祭りやイベントを企画し、実施できるよう支援しました。イベントへの参加を通じ若い世代が自治会町内会活動に参加するきっかけに繋がるとともに多世代の区民と一緒に地域の盛り上げに関わることも目指しました。</p> <p>ア 地域の賑わい、つながり作りのための補助金 (みんながつながる地域づくり補助金交付 9件)</p> <p>イ 自治会町内会のICT活用支援リーフレット「とらの巻」配布 (地域活動に役立つデジタル活用講座において、スマホ活用 LINE編、ホームページ編を配布)</p> <p>(2) 地域運営力向上サポート事業 地域が自主的に地域の課題を考え、勉強会の成果をもとに新たな取組を始められるよう、地域(連合地町内会、単位町内会等)の中で課題となっているテーマについて、勉強会を開催するための専門家・コーディネーター等の派遣費用の支援を行いました。</p> <p>ア 地域防災拠点訓練への防災資機材取扱指導員の派遣 7件 イ 地域の魅力づくりや新たな仲間づくりを考える 1件 ウ 終活講座 1件</p> |
| 予 算 額 | 1,215千円 | |
| 決 算 額 | 812千円 | |
| 差 引 | 403千円 | |
| 所 管 課 | 地域振興課 | |





補助金交付団体による
大運動会(第4地区南部連合)


| 事業名 | | 事業内容 |
|--|---------|---|
| 5 商店街魅力アップ事業 横浜市中期計画2022～2025 政策20 施策4 | | 地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行いました。 |
|  広報活動事業 (コミュニティFM放送) | | (1) 商店街広報活動事業 ア マリンFMを活用した番組制作及び放送 「ただいま商店街！」を放送 (6月～7年3月 40回放送のうち20回は再放送) イ 地域広報紙への記事掲載 ウ その他 (ア) 商店街紹介動画の配信(平成29年度から作成) (イ) 「ただいま商店街！」の放送内容のアーカイブ配信 |
| 予算額 | 3,425千円 | (2) SDGs 商店街プロジェクト事業 SDGsの目標の1つである「住み続けられるまちづくり」の実現のため、商店街の活性化と、商店街と地域との繋がりを深めること目指し小学校の総合授業と連動した取組等を実施しました。 ア 北方小学校の総合授業と連携し、商店街を含む地域のPR動画作成を支援 イ ラジオ(ただいま商店街)や情報誌(タウンニュース)等で発信 ウ 中区民祭り「ハローよこはま2024」の場を活用した発信 |
| 決算額 | 3,136千円 | |
| 差引 | 289千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |
| | | <参考>(経済局予算) 商店街活性化イベント補助金(交付申請団体:24団体) |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 6 インクルーシブスポーツ推進事業 横浜市中期計画2022～2025 政策8 施策2 | | 障害者や高齢者等、これまでスポーツに取り組む機会が少なかった人にスポーツと関わる機会を提供するとともに、地域社会で生活する人々の交流の促進を図るため、インクルーシブスポーツを推進しました。 幅広い人々が一緒にスポーツに取り組み、時間、場所、経験等を共有することで、誰もがお互いを尊重し合い、いきいきと暮らすことができる共生社会の実現に向けた機運醸成を図りました。 |
|  ラダーゲッター体験 | | (1) 体験できる場の提供 ア インクルーシブスポーツ体験会の開催 ボッチャ、車いすバスケットボール、ブラインドサッカー、アンブティサッカー、ナインゴール、輪投げ、射撃(輪ゴム)の体験会 (6月2日 大さん橋ホール、約1,150人参加) イ 区内のイベントにおける体験ブースの設置 区内で開催されるイベントに体験ブースを設置 (ア) ポレポレまつり(10月26日) (イ) 中区民祭り「ハローよこはま2024」(11月10日) |
| 予算額 | 2,295千円 | (2) 交流大会の開催 体験を通じてインクルーシブスポーツの魅力を発信するため、ボッチャ交流大会を開催(7年3月2日)19チーム81人参加 |
| 決算額 | 1,754千円 | |
| 差引 | 541千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |

| 事 業 名 | | 事 業 内 容 |
|---|---------|--|
| 7 スポーツ・青少年事業 | | <p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、地域の関連団体と連携して事業を実施しました。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業 区スポーツ協会活動支援事業・健康づくり推進事業 ア 各種スポーツ団体が加盟する区スポーツ協会への事業費補助 イ ラジオ体操指導者講習会（6月15日 23人） ウ ランニングクリニック（6月15日、29日 全2回 延べ45人）</p> <p>(2) プロスポーツチーム等との連携事業 横浜エクセレンス、横浜キヤノンイーグルス、横浜DeNAベイスターズ、Y. S. C. C横浜と連携し、次の事業を実施 ア スポーツチームによる小学校等での出前授業（3校で実施） イ 中区ラグビー教室@YC&AC（7年3月8日 25人） ウ 区民祭りにおけるスポーツ体験コーナー設置（11月10日） エ 区民デーの広報ほか開催支援（10月25、26日、7年1月11日）</p> <p>(3) 青少年育成事業 ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成に関する取組を行う2団体に事業費を補助 イ 青少年の交流促進 （ア）なかくっ子クルーズ（6月26日 マリーンルージュ 児童50人） （イ）中区ダンスフェスティバル（7月28日） （ウ）小学生フットサル大会（7年1月26日、3月2日）</p> <p>(4) 中区文明開化ウォークラリー 街並再発見と健康づくりを目的に、地域団体（青少年指導員・スポーツ推進委員）が主体となり開催（6月2日 64組175人）</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策 8 | 施策 1 | |
|  | | |
| 区民祭りにおける スポーツ体験コーナー | | |
| 予 算 額 | 3,440千円 | |
| 決 算 額 | 3,137千円 | |
| 差 引 | 303千円 | |
| 所 管 課 | 地域振興課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|--|
| 8 区民活動支援事業 | | <p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援しました。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進しました。また、中区読書活動推進目標に基づき地域の施設や団体、民間事業者等と協働して区全体で読書活動を推進しました。</p> <p>(1) 区民活動支援事業（区民活動センター） ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 登録団体や街の先生の作品展・ワークショップ(5月26日 1,245人) 中区民利用施設スタンプラリー(10月15日～11月30日 延べ961人)、なか区民活動センター祭り(11月10日 1,258人)、なかく活動ガイド発行(7年3月)、登録団体との連携講座(年5回)、街の先生オープン講座(年5回)、団体支援講座(1回) イ 情報提供・発信事業 情報誌「なかぼぼら」の発行(隔月発行) 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援(月2回)</p> <p>(2) 生涯学習支援事業 人材育成講座「区民企画型養成講座」(全4回) 人材育成講座「竹灯籠制作講座」(1回) 街歩き講座「中区タウンピクニック」(年3回)</p> <p>(3) 文化活動支援事業 共催・後援等による文化活動の支援(計19件)</p> <p>(4) 読書活動推進事業 ア 施設等と連携した「なか区ブックフェスタ」(10～11月 28団体) イ 読書啓発イベント「本活コミュニケーション」(11月23日 48人)</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策9 | 施策4 | |
|  | | |
| なか区民活動センター祭りチラシ | | |
| 予算額 | 2,786千円 | |
| 決算額 | 2,262千円 | |
| 差引 | 524千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|--|
| 9 中区民祭り「ハローよこはま」 横浜市中期計画2022～2025 政策9 施策2 | | <p>中区民の交流と調和による地域連帯の醸成と、区民の健康増進を目的に中区民祭り「ハローよこはま2024」を開催しました。</p> <p>(1) 開催方針</p> <p>ア 中区のもつ活力や魅力を広く発信していくことで、「区民はもとより、中区で働く人や横浜を訪れる人々も楽しめるイベントづくり」を心がけました。</p> <p>イ アフターコロナに向けて、改めて中区民としての意識の高揚や、地域愛及び協働・自治意識の醸成を行いました。</p> <p>ウ こどもたちが参加しやすいイベントとなるよう、各プログラムやブース出店に取り組みました。</p> <p>また、横浜市中で開催される「GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）」や、同じく2027年に迎える「中区制100周年」に向けた機運醸成などに関係機関・団体等と連携し取り組みました。</p> <p>(2) 開催実績</p> <p>ア 日程 : 11月10日 午前10時～午後4時</p> <p>イ 会場 : 象の鼻パーク</p> <p>ウ 来場者数: 約85,000人</p> <p>エ 参加者 : ブース出店: 90団体、ステージ出演: 12団体</p> <p>(3) 実施内容</p> <p>ア 区民団体及び企業等によるブース出店 (90ブース)</p> <p>イ 中区で活動する団体等によるステージ発表</p> <p>ウ 「GREEN×EXPO 2027」と「中区制100周年」を身近に感じる特設ブース</p> <p>エ 横浜エクセレンス、横浜キャノンイーグルス、横浜DeNAベイスターズ、Y. S. C. C. と連携したスポーツ体験コーナー</p> |
|  <p>中区民祭り「ハローよこはま2024」</p> | | |
| 予 算 額 | 2,925千円 | |
| 決 算 額 | 2,925千円 | |
| 差 引 | 0千円 | |
| 所 管 課 | 地域振興課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|--|--------------|---|
| 10 都市間交流事業 横浜市中期計画2022～2025 政策22 施策3 | | <p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、相互に魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、地域経済の活性化及びふるさと意識の醸成につなげました。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市：友好交流協定（平成26年3月締結）</p> <p>ア 飯能新緑ツーデーマーチ（5月）、中区民祭り（11月）、飯能まつり（11月）にて協議会ブースを出展し交流PRを行いました。</p> <p>イ 交流10周年事業を実施しました（10月）</p> <p>ウ 協議会（5月、8月、7年1月）、代表者会議（7年1月）及び交流10周年プロジェクト会議（7月）を実施しました。</p> <p>(2) 群馬県嬬恋村：友好交流協定（平成28年2月締結）</p> <p>ア つまごい祭りにて、交流PRを行いました（7月）</p> <p>イ 中区民祭りにて、嬬恋村がPRブースを出展しました（11月）</p> <p>(3) 岩手県釜石市：友好交流協定（平成26年3月締結）</p> <p>友好交流協定による職員派遣等の交流は実施しませんでした。が、地域防災力向上事業の中区オンライン防災講演会にて、釜石市の「いのちをつなぐ未来館」に講話を依頼しました（7年3月）</p> <p>(4) 仁川広域市中区：友好交流協定（平成22年3月締結）</p> <p>相手方からの訪問希望等がなかったことにより、未実施。</p> <p>※上記のほか、山形県米沢市、沖縄県宜野湾市と交流を行いました。</p> |
|  <p>ハローよこはまでの交流</p> | | |
| 予 算 額 | 700千円 | |
| 決 算 額 | 399千円 | |
| 差 引 | 301千円 | |
| 所 管 課 | 総務課 区政推進課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|-------------------------|---|---------|
| 11 中区制100周年 準備事業【新規】 | <p>2027年(令和9年)に中区ほか4区が区制100周年を迎え、上瀬谷では、環境をテーマとしたGREEN×EXPO 2027が開催されます。この大きな節目の年を、区民・団体・事業者とともに祝い、中区のさらなる発展に向けた契機とするため、庁内外への機運の醸成、記念行事等の実施に向けた準備を進めました。</p> <p>(1) 中区制100周年記念事業実行委員会の設立 区民・団体・事業者・行政等の代表者からなる「中区制100周年記念事業実行委員会」が設立し、実行委員会メンバーをはじめ、各種規約等について承認されました。(7年3月)</p> <p>(2) 機運醸成のための取組 ア 区制100周年記念事業を多くの皆様に周知できるよう、広報関係グッズとして、ロゴマーク入りのメモ帳、ボールペン、ウェットティッシュ等作成し、イベント等で配付しました。</p> <p>イ 中区民祭り「ハローよこはま2024」において、「中区制100周年オーナメント」制作のワークショップの実施や、中国人書道家による、2027年に向けた揮毫パフォーマンスなどを実施しました。</p> | |
| |  <p>実行委員会設立総会の様子</p> | |
| | 予算額 | 1,000千円 |
| | 決算額 | 1,214千円 |
| | 差引 | △214千円 |
| | 所管課 | 総務課 |

5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

| 事業名 | | 事業内容 |
|--|---|----------|
| 1 区役所サービス環境向上事業★  | <p>区民に寄り添った行政サービスを提供するため、職員の区民サービスへの意識向上に取り組みました。また、来庁者及び職員にとって利用しやすい庁舎となるよう、環境改善・執務環境の向上に取り組みました。</p> <p>(1) 人権啓発事業 人権が尊重される社会を目指し、区民を対象にした人権啓発映画上映会を開催しました。(7年1月18日 開港記念会館 110名) また、職員の人権意識の向上を図るため、研修を継続して実施しました。(全体会2回 グループ別研修40回)</p> <p>(2) CS・ES向上、人材育成事業 CS向上を目的とした研修を実施しました。 (2回 6月18日 26名 7月4日 34名) 職員参加型プロジェクト(9プロジェクト)の実施や人材育成に繋がる研修を開催し、職員満足度向上を目指しました。</p> <p>(3) 利用しやすい区役所づくり事業 警備・案内の業務委託のほか、庁舎環境の改善(7月～9月) スポットクーラー設置等)を実施しました。 音声を実タイムに認識し、アクリル板に字幕として表示できる「窓口字幕システム」の本格運用を開始しました。(4月～)</p> <p>(4) 執務環境向上事業 災害時に使用している防災用スマートフォン(36台)に、端末の安全性向上のため、一元管理ができるセキュリティソフトウェアを導入しました。</p> | |
| | 窓口字幕システムの様子 | |
| | 予算額 | 15,754千円 |
| | 決算額 | 17,415千円 |
| | 差引 | △1,661千円 |
| | 所管課 | 総務課 |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|--|---------|
| 2 広報・案内事業  | <p>様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげました。また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるよう、総合案内窓口専任のスタッフを配置しました。</p> <p>(1) 広報相談事業 ア 区ホームページでの区政情報発信 イ X(旧Twitter)、LINEによるイベント情報等の発信 (フォロワー数8,707人 発信件数263件) ウ 庁内職員のための広報研修 広報デザイン基礎研修(6月25日、参加者27人) エ 区民生活マップ更新 日本語版 20,000部作成</p> <p>(2) 総合案内運営事業 ア 1階総合案内に受付専任スタッフ(委託)を配置 案内実績 49,784件 イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ配架 ウ 1階ロビーのデジタルサイネージを使用した情報発信 (動画27本、静止画16本)</p> | |
| | 1階デジタルサイネージ | |
| | 予算額 | 5,302千円 |
| | 決算額 | 4,800千円 |
| | 差引 | 502千円 |
| | 所管課 | 区政推進課 |


令和7年度自主企画事業費一覧


(単位：千円)


| No. | 事業名 | 予算額 | 所管課 | 重点 |
|---------------------------------|--------------------------------------|---------|-----------------------|----|
| 1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり | | | | |
| 1 | 地域防災力向上事業 | 8,999 | 総務課 | ★ |
| 2 | 安全なまち・防犯対策推進事業 | 2,364 | 地域振興課 | ★ |
| 3 | 交通安全啓発・放置自転車対策事業 | 2,341 | 地域振興課 | |
| 4 | みらい環境育成事業 | 1,809 | 地域振興課 | |
| 5 | 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業 | 2,000 | 区政推進課 | |
| 6 | 花・緑でまちの環境改善事業 | 500 | 中土木事務所 | |
| 7 | 食と暮らしの安全・安心事業 | 1,238 | 生活衛生課 | |
| 8 | 動物適正飼育推進事業 | 717 | 生活衛生課 | |
| 小計 | | 19,968 | | |
| 2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり | | | | |
| 1 | 中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業 | 5,910 | 福祉保健課 | ★ |
| 2 | みんなの健康づくり事業 | 3,475 | 福祉保健課 | ★ |
| 3 | 地域包括ケアシステム推進事業 | 2,064 | 高齢・障害支援課 | ★ |
| 4 | 障害児・者ネットワーク支援事業 | 830 | 高齢・障害支援課 | |
| 5 | みんなで子育て事業 | 3,862 | こども家庭支援課 | ★ |
| 6 | みんなでサポート親子の笑顔 (みんなでSTOPザ虐待) | 2,659 | こども家庭支援課 | ★ |
| 7 | なかくっこ すくすくサポート推進事業 | 750 | 区政推進課 こども家庭支援課 | |
| | (健康アシスト事業) | 0 | 福祉保健課 | |
| 小計 | | 19,550 | | |
| 3 多文化共生のまちづくり | | | | |
| 1 | 多文化共生推進事業 | 5,409 | 区政推進課 | ★ |
| 2 | 多文化交流事業 | 8,243 | 地域振興課 | |
| 小計 | | 13,652 | | |
| 4 地域の活力があふれるまちづくり | | | | |
| 1 | まちづくり推進事業 | 3,258 | 区政推進課 | |
| 2 | 自治会町内会活動支援事業 | 3,205 | 地域振興課 | ★ |
| 3 | みんながつながる地域づくり事業 | 1,185 | 地域振興課 | ★ |
| 4 | 商店街魅力アップ事業 | 3,425 | 地域振興課 | |
| 5 | インクルーシブスポーツ推進事業 | 2,295 | 地域振興課 | |
| 6 | スポーツ・青少年事業 | 3,340 | 地域振興課 | |
| 7 | 区民活動支援事業 | 2,786 | 地域振興課 | |
| 8 | にぎわい・魅力アップ事業 (中区民祭り「ハローよこはま」) | 4,830 | 地域振興課 | |
| 9 | 都市間交流事業 | 671 | 総務課 区政推進課 地域振興課 | |
| 10 | 中区制100周年(2027)記念事業 (中区制100周年準備事業) | 2,000 | 総務課 区政推進課 地域振興課 | ★ |
| 11 | GREEN×EXPO 2027に向けた脱炭素チャレンジ事業 | 1,520 | 区政推進課 | ★ |
| | (「中区愛」はぐくみ事業) | 0 | 区政推進課 地域振興課 | |
| 小計 | | 28,515 | | |
| 5 区民目線で行動する区役所づくり | | | | |
| 1 | 区役所サービス環境向上事業 | 15,823 | 総務課 | ★ |
| 2 | 広報・案内事業 | 4,379 | 区政推進課 | |
| 小計 | | 20,202 | | |
| 合計 | | 101,887 | | |


令和7年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況【議題3】


1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|--|---|
| 1 地域防災力向上事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策35 施策2 |  国際交流ラウンジでの防災講話 | 地域防災力のさらなる向上と区の防災体制の強化を図ります。 (1) 減災行動啓発事業 (3,821千円) ア 地域及び企業等に対する減災支援(講話等) (地域等:17件 延べ926人、企業:2件 延べ410人) イ 共同住宅に特化した啓発 (ア) マンション防災アドバイザー派遣事業(年30回実施、 申込数:4団体延べ12回、広報よこはま8月号記事掲載) (イ) 共同住宅の管理組合等に対し、防災講話(1回10人) ウ 外部講師によるオンライン防災講演会(8年3月) エ 地震・風水害・がけ防災対策等の啓発 マリンFMと連携した防災情報の発信(毎月1回)、即時避難指示 対象区域6箇所へ早期の避難行動等の啓発(5月120世帯) オ 災害時要援護者(障害者、外国人、子ども等)を対象とした防災啓発 (国際交流ラウンジ:1件30人、放課後キッズ:2件延べ130人、 幼稚園・保育園:3件延べ173人) カ 横浜市避難ナビや感震ブレーカー等の防災・減災ツールの普及啓発 (避難ナビ:33回延べ2,825人、感震ブレーカー:11回延べ841人、 家具転倒防止器具:11回延べ841人) (2) 災害時の担い手育成事業 (306千円) 区内の小・中・高等学校を対象とした防災出前教室の実施 (中学校3件 延べ400人・高校3件 延べ924人) (3) 防災訓練・災害対策事業 (4,872千円) ア 防災訓練 (ア) 職員向け防災訓練、防災研修の実施 (イ) 帰宅困難者対策訓練(12月)・情報受伝達訓練(8年1月) イ 地域防災拠点の備品の充実、訓練の実施及び本部体制の充実 |
| | | |
| | | |
| | | |
| 予 算 額 | 8,999千円 | |
| 所 管 課 | 総務課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---|--|
| 2 安全なまち・防犯対策推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策9 施策4 |  こども防犯教室 | 「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となり、高齢者の被害が後を絶たない振り込め詐欺の防止や、近年増加している凶悪な強盗への対策など、地域の実情に応じた防犯の取組を推進します。 (1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業 (232千円) 中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。 ア 総会の開催(5月15日) イ 各種防犯キャンペーンの実施(6月3日馬車道駅、10月) ウ 中区民祭り「ハローよこはま2025」への出店(11月) エ 「寄席de防犯」の開催(8年2月) オ 4警察署、3防犯協会、防犯協力会等の関係機関との合同会議 カ 地域自主防犯活動委員会の開催(全5回2回実施済) キ 防犯情報配信 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール等を活用して配信 (登録者数7月末時点1,581人) (2) 中区地域防犯活動支援事業 (1,705千円) ア 実施内容:防犯活動費支援、防犯活動物品の配布・貸与 イ 対象団体:地区連合町内会、防犯活動団体、 市立小学校(4月に新1年生へ防犯ブザー配布825個) (3) 防犯教室・講座事業 (427千円) 地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、 子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。 (全10回程度 こども防犯教室(7月10日)1回実施済65人) |
| | | |
| | | |
| | | |
| 予 算 額 | 2,364千円 | |
| 所 管 課 | 地域振興課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|--|---------|--|
| 3 交通安全啓発・放置自転車対策事業 横浜市中期計画2022～2025 政策28 施策3 | | <p>区内で発生する高齢者や自転車の交通事故防止及び自転車・バイクの放置防止を推進するため、各警察署や地域の関係団体と連携したキャンペーン等の啓発活動を行います。</p> <p>(1) 交通安全啓発事業 (2,191千円) 【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 中区交通安全対策協議会への支援 イ 中区交通安全こどもポスターコンクール開催及び入賞作品活用 (中区交通安全対策協議会共催) (7月～12月) ウ スクールゾーン対策の実施 (6月～) エ 各団体への補助金交付 (6月) オ 各季交通安全運動への協力 カ 小学生の交通安全教室開催 (4月～10月 全9校 6校実施済) キ 小学生向け「サイクルルールブック」等の啓発パンフレット配布 ク 中学生の交通安全教室開催 (7月3日 横浜吉田中学校) ケ 保護者向け交通ルール啓発リーフレット配布 (6月) コ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 サ 中区役所内デジタルサイネージに交通事故防止の啓発画像を表示 <p>(2) 放置自転車対策事業 (150千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 イ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び実施協力 ウ 放置自転車等移動要望への対応 <p>＜参考＞ (道路局予算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スケアードストリート (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室の中学校での開催 (7月4日 本牧中学校) ・ 放置自転車等監視業務の実施 |
|  <p>はまっ子交通安全教室 (1年生の正しい歩き方) ※手を挙げて横断歩道を渡ろう！</p> | | |
| 予 算 額 | 2,341千円 | |
| 所 管 課 | 地域振興課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|--|---------|--|
| 4 みらい環境育成事業 横浜市中期計画2022～2025 政策19 施策1 | | <p>一般廃棄物処理基本計画【ヨコハマプラ5.3 計画】の目標である、「燃やすごみに含まれるプラスチックごみの量を2030年度までに2万トン削減」の達成に向け、区民・事業者・行政が協働し、削減に取り組みます。</p> <p>また、SDGsの達成に向け、食品ロスや海洋プラスチックごみの削減に取り組みます。</p> <p>(1) ヨコハマプラ5.3計画推進活動 (160千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各種イベント参加 (2回)、店頭啓発 (6月7日)、分別相談窓口 (15回) イ 資源回収BOX、リユース文庫による減量化・資源化 (通年) ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業の実施 (通年) エ フードドライブ活動の実施 (通年) <p>(2) まちの美化対策事業 (1,499千円) 【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 中区クリーンアップDAY！を実施 (5月31日、8年1月予定) イ 中華街クリーンアップを実施 (9回) ウ 学校との連携 横浜中華学院 (9月10日、8年1月21日) 横浜山手中華学校 (10月24日) 港中学校 (10月15日) エ 不法投棄防止に係る啓発 オ 外国人向けの分別説明会を実施 (3回) カ まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援 (通年) <p>(3) 美化推進者表彰 (150千円)</p> <p>まちの美化推進及び3R行動の推進に功績があった個人・団体へ区長感謝状の贈呈 (8年3月)</p> |
|  <p>中区クリーンアップDAY！2025</p> | | |
| 予 算 額 | 1,809千円 | |
| 所 管 課 | 地域振興課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|--|--|---|
| 5 初黄・日ノ出町地域 再生まちづくり事業 横浜市中期計画2022～2025 政策29 施策2 |  <p>令和6年度の防災訓練の様子</p> | <p>まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、関係局と連携して支援を行います。</p> <p>中区では、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会に、活動補助金の交付及びNPO法人黄金町エリアマネジメントセンターを通じた支援を行います。</p> <p>協議会等への支援を通じて、アーティスト・学生等とも連携した子ども関連の取組や大岡川の栈橋の活用などのまちづくり活動の活性化を図り、魅力あるまちの形成を目指します。</p> <p>(1) 環境浄化活動支援補助金 (500千円)</p> <p>ア 協議会定例会等の開催 (総会1回、定例会1回、役員会2回開催)</p> <p>イ 防犯啓発活動等の実施 防犯パトロール月1回程度 (全12回 4回開催済)、 防災訓練 (10月13日)</p> <p>ウ 広報活動 まちづくりニュースの発行年4回、打ち水イベント (8月3日)</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円)</p> <p>ア 協議会活動の企画、運営手法の検討支援</p> <p>イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援</p> <p><参考> (市民局予算) 防犯対策支援</p> <p><参考> (関係局の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市整備局 : 小規模店舗の借上げ、エリアマネジメント推進 等 ・にぎわいスポーツ文化局 : 高架下スタジオ等を拠点とした創造性を生かしたまちづくり |
| | | |
| | | |
| | | |
| 予 算 額 | 2,000千円 | |
| 所 管 課 | 区政推進課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|--|--|---|
| 6 花・緑で まちの環境改善事業 横浜市中期計画2022～2025 政策9 施策4 |  <p>錦保育園の子どもと行った 種まきイベントの様子</p> | <p>本事業では、区民 (自治会、公園愛護会など) と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行うものです。</p> <p>また、GREEN×EXPO 2027を意識した脱炭素社会の形成、地球温暖化対策の普及啓発を目的とした、区内の小学校等への花緑のカーテンの設置や、種まきイベント、園芸講習会を開催します。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業 (450千円)</p> <p>ア 花苗提供 (全2,000株 1,000株提供済)</p> <p>イ プランター設置・維持管理 (全9か所設置済) 実施箇所: 本牧埠頭交番前、大和町、柏葉公園、 長者町 (長者町5丁目交差点付近)、山手駅、 開港広場公園、竹之丸 (竹之丸保育園付近)、 鷺山公園、福富町西公園</p> <p>ウ 種まきイベント (春・秋) 春の種まき (全6か所実施済 延べ130人) 秋の種まき (全6か所) 実施箇所: 錦保育園、山手保育園、太陽の子 不動下保育園、 横濱中華幼保園、保育園ばんびーな、竹之丸保育園</p> <p>エ 花緑のカーテン設置 (全4か所設置済) 実施箇所: 横浜訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所、中区役所</p> <p>(2) 普及啓発事業 (50千円)</p> <p>園芸講習会 (全2回実施 参加予定者数各25人)</p> <p>9月 秋季園芸講習会 8年2月 冬季園芸講習会</p> |
| | | |
| | | |
| | | |
| 予 算 額 | 500千円 | |
| 所 管 課 | 中土木事務所 | |


| 事 業 名 | | 事 業 内 容 |
|---|---------|---|
| 7 食と暮らしの安全・安心事業 | | <p>食中毒等の健康被害の予防及び拡大・再発防止を図り、区民の暮らしの安全・安心を確保するため、食品取扱施設、環境衛生関係施設等の生活衛生関係施設に対する監視指導や、事業者・消費者に対する衛生教育、情報発信を行います。</p> <p>(1) 生活衛生関係施設の衛生確保支援事業 (850千円)</p> <p>ア 生活衛生関係施設の衛生対策を行います。</p> <p>(ア) 中華街やホテル等に対し、調理器具等の清浄度を確認できる検査キットや多言語チラシを活用し、HACCPの導入を指導します。</p> <p>あわせて施設内での感染拡大予防の周知・啓発を行います。</p> <p>(中華街一斉監視：5～6月実施・約200件)</p> <p>(イ) 大規模イベント等での食品提供について、食品の衛生的な取扱いを指導します。</p> <p>(ウ) 食肉を取り扱う飲食店等に対し、科学的根拠に基づく十分な加熱調理を行うよう周知・啓発を行います。(10月～12月)</p> <p>イ 高齢者や乳幼児等の健康被害のリスクが高い方が利用する社会福祉施設に対し、立入点検等によりノロウイルス、レジオネラ等による感染症予防の啓発・指導を行います。(12月～8年3月)</p> <p>(2) 暮らしの安全に関する情報発信事業 (388千円)</p> <p>ア 感染症や衛生害虫対策に関する講習会や広報等により、区民や自治会、事業者に向けて健康被害を予防するための注意喚起を行います。</p> <p>(広よこ区版 5月：ハチ・蚊 7月：食中毒予防 8月：トコジラミ)</p> <p>イ 庁舎内でのパネル展示、動画サイトなどを利用し、幅広い年代の区民への啓発を行います。</p> <p>ウ 消費者を対象とした食中毒予防のイベント(食中毒予防キャンペーン)を客船飛鳥Ⅱで8月9日に実施(40組80名)、ハローよこはまで実施予定です。</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策 7 | 施策 2 | |
|  | | |
| 食中毒予防キャンペーン「飛鳥Ⅱキッズツアー」の様子 | | |
| 予 算 額 | 1,238千円 | |
| 所 管 課 | 生活衛生課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|-------|--|
| 8 動物適正飼育推進事業 | | <p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組めます。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施します。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業 (534千円)</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、中区獣医師会と連携して、犬の飼い主への啓発を実施しました。(4月 3会場 221頭)</p> <p>イ ハローよこはま等のイベントに参加し、中区獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者への啓発を実施します。(9月、11月、12月、8年2月)</p> <p>ウ 犬の放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携し、散歩中の飼い主に對する啓発、指導を実施します。</p> <p>エ 啓発用動画等を活用し、飼い主向け講習を実施することにより、動物の適正な飼い方に係る知識の普及を行います。</p> <p>オ 区民が飼い主のいない猫対策として実施する地域猫活動に対し、機材の貸出し等の支援を行います。</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業 (183千円)</p> <p>ア 地域防災拠点の拠点訓練等においてペット同行避難に関する展示や同行避難訓練の推進に向けた提案を行います。</p> <p>イ ペット同行避難の検討に既に取り組んでいる地域防災拠点のペット受入マニュアル等の成果物を参考に、ホームページ等での啓発、ペット避難所開設キットの配備を推進します。</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策35 | 施策 5 | |
|  | | |
| イベント会場における ペット災害対策の啓発 | | |
| 予算額 | 717千円 | |
| 所管課 | 生活衛生課 | |

2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 1 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策10 施策1 | | <p>誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らせるまちを目指して第5期計画を策定し、地域の福祉保健活動を推進します。重要な視点として、子どもの育ちを応援する地域づくり、共生社会の実現等を含めた計画とします。</p> <p>(1) 第5期計画（8年度～12年度）の策定（4,150千円）【拡充】</p> <p>ア 地区別計画と区計画の策定 第4期計画を踏まえ、13地区ごとの「地区別計画」と、共通課題に行政と地域が連携して取り組む「区計画」を策定します（8年2月）</p> <p>イ 計画の周知 (ア) リーフレットの区内各所での配布（8年2月） (イ) SNS（区X）での情報発信（7月） (ウ) デジタルサイネージ（庁内2、関内駅1）動画再生（6月～）</p> <p>(2) 中なかいいネ！推進会議の開催（440千円）</p> <p>ア 区推進会議の開催（第1回：6月、第2回：8年3月）</p> <p>イ 各地区推進会議開催（27回実施済）</p> <p>ウ 地域支援チームの連携による13地区の取組支援（33回実施済）</p> <p>(3) 福祉保健活動に関する情報発信（835千円）</p> <p>ア 中なかいいネ！発表会の開催（8年2月17日）</p> <p>イ イベントやPR媒体を活用した福祉保健活動の紹介</p> <p>(4) 人材育成（295千円）</p> <p>地域支援チームを対象に、地域支援スキル研修を行いました。</p> <p>ア 地域支援合同研修（全2回 2回実施済 延べ43人）</p> <p>イ 地域支援従事者研修（全2回 2回実施済 延べ62人）</p> |
|  <p>地区別推進会議の様子</p> | | |
| 予算額 | 5,910千円 | |
| 所管課 | 福祉保健課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|--|---------|---|
| 2 みんなの健康づくり 事業★【新規】 横浜市中期計画2022～2025 政策7 施策1 | | <p>生活習慣病予防の鍵となる「子育て・働き世代（成人・壮年期）」を対象に、専門職が対象者が集まる場に積極的に出向き、情報提供やアドバイスをを行うことで、区民や区内在勤者が健康づくりを実践できる環境づくりを進めます。また、区民意識調査で関心が高い防災分野の取組の一つとして、災害時の健康支援に関する情報提供を充実させます。</p> <p>(1) 子育て家庭のヘルスアップ事業（1,116千円）【新規】</p> <p>子育て世代を対象に、4か月乳幼児健診の場を活用した「ママ・パパ健康チェック」（全15回 6回実施済 133人）や、子育て支援拠点等において「はじめての歯びか教室」（全7回 3回実施済 32人）を行い、自身の健康を見直すきっかけづくりを行います。</p> <p>(2) 働き世代のヘルスアップ事業（1,000千円）【新規】</p> <p>働き世代が健康を意識する機会として、ナイトウォーキングイベント（9月）や出張ミニ講座・健康チェック（全5回 2回実施済 179人）を行います。また、企業向けに血管年齢測定器等の健康機器の貸し出しや専門職による出張健康講座を行い、健康経営を推進します。</p> <p>(3) 災害に備えた健康づくり事業（1,024千円）【新規】</p> <p>災害等の非常時に健康を維持するための方法や、災害に備えた日頃からの備えについてリーフレットを作成（4,000部）し、保健活動推進員やヘルスメイトと連携して配布・啓発を行います。また、SNSやデジタルサイネージを活用したデジタル広報の充実を図ります。</p> <p>(4) 食育推進事業（125千円）</p> <p>食育を推進するために食育イベント（全2回 1回実施済 73人）や食育従事者研修会を行います。（10月）</p> <p>(5) 中区健康づくり月間事業（元気フェスタ21事業）（210千円）</p> <p>「ハローよこはま2025」にて医師会・歯科医師会・薬剤師会等の関係機関と連携し、元気フェスタ21を開催します。（11月）</p> |
|  <p>「フラワー＆グリーンフェスタ」でのベジチェック</p> | | |
| 予算額 | 3,475千円 | |
| 所管課 | 福祉保健課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|----------|--|
| 3 地域包括ケアシステム推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策15 施策1 | | <p>「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症の人に優しい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 (674千円) 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援し、地域の交流・介護予防活動を支援します。 ア 老人クラブ連合会行事への補助・開催支援（グラウンドゴルフ大会（5月19日 58人、10月21日）、老人福祉大会（9月22日）、ノルディックウォーキング（全6回 3回実施済）、ふれあい運動会（12月） イ 老人クラブへの加入促進（通年） ウ 敬老月間事業（9月）</p> <p>(2) 介護予防事業 (310千円) 高齢者が自分の健康状態に関心を持ち、積極的にフレイル予防に取り組む機会を増やします。アクティブシニアフェスタ（7月16日 講演会27人、健康チェック42人、姿勢測定50人、美容教室23人など） 体力測定会（全5回 2回実施済）</p> <p>(3) 認知症支援事業 (1,080千円) 認知症の理解を深め、認知症の人にもやさしいまち中区を実現するため、相談支援や啓発活動を推進します。 ア 認知症高齢者等の介護者を対象とした、臨床心理士による個別相談の実施（18回） イ 認知症キャラバン・メイト活動支援（6月30日16人、8年1月22日） ウ 認知症サポーター企業等認証事業の推進（7月末時点 85社） エ 認知症体験型研修（10月15日、11月19日）</p> |
|  <p>（中区老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会）</p> | | |
| 予算額 | 2,064千円 | |
| 所管課 | 高齢・障害支援課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|----------|---|
| 4 障害児・者ネットワーク支援事業 横浜市中期計画2022～2025 政策13 施策1 | | <p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくります。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 (490千円) 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制を充実させます。 ア 自立支援協議会の開催 イ 支援者のスキルアップや連携強化を目的とする研修会の開催（5月29日 61人、11月21日・8年2月3日開催予定） ウ 計画相談支援事業の利用促進に向けた検討</p> <p>(2) 障害理解・販路拡大推進事業 (340千円) 障害者の社会参加及び障害理解の推進を図るため、ポレポレグッズ（障害者作業所製品）の販売活動の支援等を行います。 ア 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会事業運営費の補助 イ 販路拡大委員会、ナカナ・カフェ運営委員会開催支援（販路拡大委員会：奇数月最終木曜日開催（全6回 2回実施済）、ナカナ・カフェ運営委員会：不定期開催（6・8月実施済）） ウ 区役所内定期販売会の支援：毎月第4金曜日開催（全12回 5回実施済）、中区SDGsマルシェでの販売支援：毎月第2水曜日開催（全12回 5回実施済）、ほか各種行事等への出店支援 エ プロスポーツチームと連携した横浜武道館等でのポレポレグッズの販売（全5回 2回実施済）</p> |
|  <p>区障連自主製品「ポレポレグッズ」</p> | | |
| 予算額 | 830千円 | |
| 所管課 | 高齢・障害支援課 | |


| 事業名 | 事業内容 |
|--|--|
| 5 みんなで子育て事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策1 施策4  ピースフルファミリー事業 | 子育て家庭の育児不安や孤立感を軽減し、身近な地域で安心して子育てできるよう、地域や家庭と連携し、地域全体で子育てを支える環境づくりに取り組みます。 (1) 母子手帳交付時の説明動画作成 (570千円) 【新規】 母子手帳交付時に行う説明について、分かりやすい動画を作成し配信します。英語・中国語の字幕を付けた外国語版もあわせて作成します。(9月以降配信予定) (2) ピースフルファミリー事業(756千円) 【拡充】 子育て講座を実施し、親子のコミュニケーション及び家族間のコミュニケーションを学ぶ機会を提供します。(全3回(8月、10月、12月) 8月17日実施済 56人) (3) 保護者向け保育所等情報提供 (201千円) 「中区保育所等のしおり」を作成し、認可保育所、地域ケアプラザ等で配布します。(10月 3,500部) (4) おでかけスポットマップ (415千円) 子育て家庭が安心して楽しく地域の方と交流できるよう、区内の子育て支援施設の情報をまとめた「おでかけスポットマップ」を作成します(8年3月 3,500部) (5) 外国人向け両親教室(450千円) 【拡充】 外国語を母語とする方の不安軽減につながるよう、日本での妊娠、出産、子育てについての情報をWeb上で配信し、誰もが必要な時に必要な情報にアクセスできる環境を整えます。 (中国語版：5月配信開始 7月末時点58回再生 英語版：8月配信開始) (6) 中国語窓口案内補助(1,470千円) 各種手続等に対応するため、窓口に中国語通訳を配置しています。 |
| 予算額 | 3,862千円 |
| 所管課 | こども家庭支援課 |

| 事業名 | 事業内容 |
|--|---|
| 6 みんなでサポート親子の笑顔★ 横浜市中期計画2022～2025 政策4 施策1  学齢期家庭向け支援事業 クリアファイル | 子どもや保護者が相談しやすい環境を整え、児童虐待防止を推進するとともに、地域で見守る力を高めます。 (1) 児童虐待対応力向上事業(250千円) 【拡充】 中区の特性として複雑なケース対応が多く、より専門的な知識が求められるため、区職員を対象にスーパーバイザーによる講義やセルフコーチング研修を実施します。また、有識者から助言をもらい、児童虐待事例への効果的な介入方法及び事業の組み立て方を検討します。 (セルフコーチング：9月29日 講義：8年1月23日 有識者からの助言：全6回 3回実施済) (2) 学齢期家庭向け支援事業(570千円) 虐待予防及び虐待の早期介入と支援につなげるための啓発動画とチラシを活用し、さらに普及を推進します。子ども自身が困った時にSOSを発信し、相談機関につながるができるように啓発グッズ(クリアファイル)を作成し配布しました。(8,386部 7月) (3) 育児を学ぶ教室・講座(358千円) 親が育児について相談したり学んだりする子育て講座を開催します。ベビーマッサージ教室(全12回 4回実施済 延べ45人) (4) 赤ちゃん学級(467千円) 1歳未満の子の養育者を対象に仲間づくりや子育ての知識を得ることのできる教室を開催します。(全70回 28回実施済 延べ416人) (5) 乳幼児健診の充実に関する事業(419千円) 乳幼児健診について、きょうだい児連れの方等が受診しやすいように保育ボランティアを追加配置します。(全47回 20回実施済) (6) 相談業務強化事業(595千円) 各種手続・相談等に丁寧に対応すべく相談員を配置しています。 |
| 予算額 | 2,659千円 |
| 所管課 | こども家庭支援課 |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|-------------------|--|
| 7 なかくっこ すくすく サポート推進事業 | | <p>地域の子育て関係団体や民間事業者など、様々なステークホルダーと連携しながら、子育てしやすい環境づくりにつながる取組を進めます。</p> <p>取組にあたっては、子育て経験のある職員を中心とした庁内プロジェクトで議論しながら進めます。</p> <p>(1) なかくっこ自由研究大作戦2025 (450千円)</p> <p>民間事業者等とも連携し、小学生の自由研究の題材として活用できる23個の取組を「なかくっこ自由研究大作戦2025」としてまとめ、リーフレットを区内及び近隣の小学校に配布し、区内施設に配架しました。</p> <p>リーフレット記載のイベントについては7月及び8月に実施。</p> <p>(申込者数 855人)</p> <p>(2) 子ども・子育て支援ネットワーク推進事業 (300千円)</p> <p>子育て関係団体の横のつながり強化するため、区全域の連絡会を開催し、外部有識者によるアドバイスを通して、区子育て支援の充実を目指した取組を進めます。また、外部有識者が各ケアプラザ地区ごとの連絡会に出向き、地区に応じた課題解決に向けた助言を行い、取組を進めます。(全体会1回、地区別連絡会10回、代表者会議2回)</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策1 | 施策4 | |
|  | | |
| 「なかくっこ自由研究大作戦2025」リーフレット | | |
| 予算額 | 750千円 | |
| 所管課 | 区政推進課 こども家庭支援課 | |


3 多文化共生のまちづくり


| 事業名 | 事業内容 |
|---|--|
| 1 多文化共生推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策11 施策3 | <p>「中区多文化共生推進アクションプラン」に基づき、国籍やルーツによらず、誰もが地域の一員として、安心して自分らしく暮らせる多文化共生のまちづくりを進めます。</p> <p>令和7年度は6年度に実施した外国人数基礎調査や外国人意識調査の結果等を踏まえ、次期アクションプランの策定を進めます。</p> <p>(1) 中区多文化共生推進アクションプラン推進事業 (580千円) 区民・職員向けの研修・イベントの開催等を通じ、多文化共生意識の醸成に取り組みます。</p> <p>(2) 多言語広報紙発行事業 (2,969千円) 中区在住の外国人住民に役立つ生活情報や行政情報等を掲載した広報紙を、英語 (4,200部)、中国語 (4,400部)、日本語 (1,000部) で発行します。(年4回(夏・秋・冬・春)、夏号7月1日発行)</p> <p>(3) 多言語ホームページ運営事業 (490千円) 広報よこはま掲載情報や生活情報等を、英語、中国語、ハングル、やさしい日本語で発信します。(月1～2回)</p> <p>(4) 外国人向け情報発信スポット拡充事業 (20千円) より多くの外国人住民が生活に必要な情報をすぐに入手できるよう、外国人住民がよく訪れる場所(コンビニ、郵便局、語学学校など)に、多言語暮らし情報案内ウェブサイトのポスターを掲示します。(現在、区内52箇所設置)</p> <p>(5) 次期多文化共生推進アクションプラン策定事業 (1,350千円) 【新規】 令和8年度からの次期プラン策定に向け、学識有識者や地域の支援者、自治会町内会関係者等へのヒアリングを実施しています。また、冊子のデザインや翻訳等を実施します。</p> |
|  | |
| 情報発信スポットで掲示しているポスター | |
| 予算額 | 5,409千円 |
| 所管課 | 区政推進課 |


| 事業名 | 事業内容 |
|---|--|
| 2 多文化交流事業 横浜市中期計画2022～2025 政策11 施策3 | <p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 地域連携・人材育成事業 (3,393千円) ア 地域連携事業 (全10回 4回実施済) イ 人材育成事業 (ア) 学習支援事業 (全40回 8回実施済 学習者延べ167人 サポーター延べ169人) (イ) 外国につながる若者の居場所Rainbowスペース (全40回 8回実施済 延べ125人) ウ 日本語ボランティア養成講座 (全8回) エ ボランティア日本語教室連絡会の開催 (全2回)</p> <p>(2) 日本語学習支援事業 (1,604千円) ア 定期教室 (前期全30回 15回実施済 延べ278人、後期全30回予定) イ スタート教室 (全60回 15回実施済 延べ72人)</p> <p>(3) 多文化共生理解事業 (1,085千円) 多文化共生理解講座、イベント等の実施 (全7回 2回実施済)</p> <p>(4) 案内等翻訳(庁内)の実施 (648千円) (7件実施済)</p> <p>(5) 多文化共生ボランティア事業 (616千円) (通訳2件14人、翻訳9件)</p> <p>(6) その他運営・事務費等 (897千円)</p> <p><参考>地域連携強化事業(国際局予算) 外国人集住地域での課題解決を図るコーディネーターが、地域活動の実行委員会等への参加や連携地域での多文化共生事業等を実施</p> |
|  | |
| 日本語教室 | |
| 予算額 | 8,243千円 |
| 所管課 | 地域振興課 |


4 地域の活力があふれるまちづくり


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|--|
| 1 まちづくり推進事業 | | <p>まちづくりの推進にあたっては、区民等のまちづくり活動を支援し、様々な地域資源を活用することで、区民の地域への愛着を育み、更なるまちづくり活動へつなげます。また、公共空間の利活用を通じて、地域の活性化などにつなげる地域主体のまちづくりを進めます。</p> <p>(1) 地域まちづくり活性化事業 (1,158千円)</p> <p>ア 地域が抱えるまちの課題解決に向けて必要な調査・検討等を行います。令和7年度は、歩道拡幅後の大岡川右岸における地域主体のまちづくりの事業性の検討などを進めます。</p> <p>イ まちづくり団体の定例会への出席などにより、ルール・プラン策定や策定後の運用、その他のまちづくり活動の支援等を実施します。緊急性や必要性の高い課題においては、関係課等と連携して対応します。</p> <p>(2) 歴史的建造物等活用事業 (2,000千円) 【新規】</p> <p>幅広い世代を対象に中区固有の魅力資源をより深く、よりわかりやすく伝えるため、歴史的建造物等の持つ魅力・要素をコンパクトに表示し、手軽に収集閲覧できる「(仮称)歴史的建造物カード」を区制100周年に向けて段階的に作成します。</p> <p>各施設でのカード配布を通じて、ファン(来街者)と地域とのつながりを深め、訪れた人がまちを回遊することによる賑わい創出等を図ります。(8年3月配布開始)</p> <p>(3) よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図活用事業 (100千円)</p> <p>区内に点在する「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝える碑を紹介する街歩きマップ「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」を活用したイベントを企画します。</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策29 | 施策2 | |
|  | | |
| 令和6年度の道路空間活用 社会実験の様子 | | |
| 予算額 | 3,258千円 | |
| 所管課 | 区政推進課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 2 自治会町内会活動支援事業★ | | <p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携・協力関係を深めます。自治会町内会への加入を促すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進 (380千円)</p> <p>自治会町内会が配布する加入促進チラシの作成や新規建築マンション管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援します。(7月末時点 5件217戸分)</p> <p>(2) 掲示板整備補助事業 (1,000千円)</p> <p>地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。(申請件数 7月末時点 6件)</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会 (864千円)</p> <p>市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表するため、表彰式・感謝会を開催します。</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援 (311千円)</p> <p>自治会町内会実務担当者向け研修会や区連会定例会等を通じ、自治会町内会の活動を支援します。(研修会 全2回実施済 延べ68人)</p> <p>(5) 学生連携事業 (650千円) 埋地地区で実施中</p> <p>関東学院大学の学生の地域イベントへの参加を促し、若者の参加減少や将来の担い手不足など地域が抱える課題解決の手がかりを探り、自治会町内会等の活動の活性化に取り組んでいきます。</p> <p><参考> (市民局予算)</p> <p>地域活動推進費補助金・防犯灯維持管理費補助金 自治会町内会館整備補助金</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策9 | 施策1 | |
|  | | |
| 自治会町内会加入促進チラシ | | |
| 予算額 | 3,205千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |

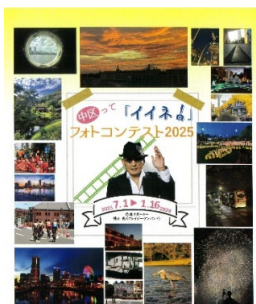
| 事業名 | | 事業内容 |
|--|---------|---|
| 3 みんながつながる地域づくり事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策9 施策2 | | <p>自治会町内会をはじめとした地域の様々な主体の連携・協働による地域課題解決の取組を支援し、地域人材の発掘・育成につなげます。また、地域と、区民活動センターや国際交流ラウンジとの連携強化を支援します。</p> <p>(1) 地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業(1,080千円) 地域が自主的に各種団体と連携しながら、地域を盛り上げる祭りやイベントを企画し、実施できるよう支援します。イベントへの参加を通じて若い世代が自治会町内会活動に参加するきっかけをつくるとともに、多世代、多国籍の区民と一緒に地域の盛り上げに関わることによる地域の活性化を目指します。</p> <p>ア 地域の賑わい、つながり作りのための補助制度 「みんながつながる地域づくり補助金」(7月) 補助金額 : 1年目10万円、2年目5万円、3年目3万円 いずれも上限額・補助対象経費の10分の9以内とする 補助団体数: 11団体(新規2・継続9団体)に交付</p> <p>イ 地域の広報サポート (地域人材と連携したICT活用支援、ホームページ掲載等)</p> <p>(2) 地域運営力向上サポート事業(105千円) 地域が自主的に、地域の課題を考え、勉強会の成果をもとに新たに取組めるよう、地域(連合町内会、単位町内会等)の中で課題となっているテーマについて、勉強会を開催するための専門家・コーディネーター等の派遣費用の支援や講師の紹介を行います。(7月末実績3件)</p> <p>＜参考＞地域の担い手応援事業(市民局予算) 地域運営補助金: 自治会町内会等が連携して取り組む課題解決、協働による地域づくりを支援します。(7年度で終了)</p> |
|  <p>補助金交付団体による野菜の収穫 (アメリカ坂ふぁーむ)</p> | | |
| 予算額 | 1,185千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|--|---------|--|
| 4 商店街魅力アップ事業 横浜市中期計画2022～2025 政策20 施策4 | | <p>中区の商店街のさらなる魅力アップと活性化に向けた支援を行います。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業(2,700千円) 地域と密着した地元メディア(FM放送局、地域情報紙)を活用して商店街の魅力やイベント情報等を発信し、地域での消費促進に向けた広報を行います。</p> <p>(2) SDGs商店街プロジェクト事業(725千円) 商店街には身近な買い物の場にとどまらない社会的価値があります。一方で、店主の高齢化や店舗の減少に伴う顧客の減少などが課題となっています。</p> <p>持続可能な地域社会をつくっていくために、商店街振興にSDGsの観点を取り入れ、商店街と次世代を担う子どもたちや地域の様々な団体等が連携し、子どもたちが商店街等の地域社会に愛着を持ち、地域に関わる仕掛けづくりに取り組みます。</p> <p>＜参考＞(経済局予算) 商店街活性化イベント補助金: 商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行います。</p> |
|  <p>広報活動事業 (コミュニティFM放送)</p> | | |
| 予算額 | 3,425千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |

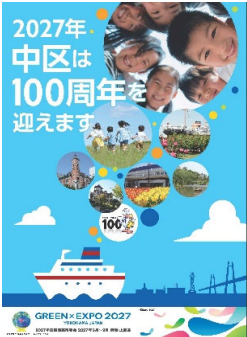
| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|--|
| 5 インクルーシブスポーツ推進事業 | | <p>年齢、性別、国籍、障害の有無等に関わらず、誰もが楽しめるインクルーシブスポーツを推進することで、地域社会で生活する人々の交流の場をつくり、地域活性化と健康増進を図ります。また、幅広い参加者が、時間、場所、経験等を共有しスポーツを楽しむことで、誰もがお互いを尊重し合い、健康にいきいきと暮らすことができる共生社会への機運を醸成します。</p> <p>(1) 体験できる場の提供(1,645千円)</p> <p>ア インクルーシブスポーツ体験会の開催 ボッチャ、モルック、ラダーゲッター等の体験会を実施 (6月1日 大さん橋ホール 来場者1,200人)</p> <p>イ 区内のイベントにおける体験ブースの設置 区内で開催されるイベントに体験ブースを設置 (ア) ポレポレまつり (10月25日) (イ) ハローよこはま (11月9日)</p> <p>(2) 交流大会の開催(650千円) 体験を通じてインクルーシブスポーツの魅力を発信するため、ボッチャ交流大会を開催(8年3月7日)(目標値:80人)</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策8 | 施策2 | |
|  | | |
| モルック体験 | | |
| 予算額 | 2,295千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |


| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 6 スポーツ・青少年事業 | | <p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、地域の関連団体と連携して事業を展開していきます。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業 (1,040千円)</p> <p>ア 区スポーツ協会活動支援事業 各種スポーツ団体が加盟する区スポーツ協会への事業費補助</p> <p>イ 健康づくり推進事業 (ア) ラジオ体操指導者講習会 (6月21日 23人) (イ) 横浜マラソンに向けたランニングクリニック (4月13日・20日 各20人)</p> <p>(2) プロスポーツチーム等との連携事業 (1,020千円) 横浜エクセレンス、横浜キャノンイーグルス、横浜DeNAベイスターズ、Y.S.C.C横浜と連携し、次の事業を実施</p> <p>ア スポーツチームによる小学校等での出前授業 (6月～8年2月)</p> <p>イ 中区ラグビー教室@YC&AC (8年2月)</p> <p>ウ 区民祭りにおけるスポーツ体験コーナー設置 (11月9日)</p> <p>(3) 青少年育成事業 (700千円)</p> <p>ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に事業費を補助</p> <p>イ 青少年の交流促進 (ア) なかくっ子クルーズ (6月23日 マリーンルージュ 児童56人) (イ) 中区ダンスフェスティバル (7月20日 関内ホール 36チーム) (ウ) 小学生フットサル大会 (8年1月25日、3月8日)</p> <p>(4) 中区文明開化ウォークラリー (580千円) 街並再発見と健康づくりを目的に、青少年指導員・スポーツ推進委員が主体となって開催 (6月1日 100組・304人参加)</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策 8 | 施策 1 | |
|  | | |
| 中区文明開化ウォークラリー | | |
| 予算額 | 3,340千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 7 区民活動支援事業 | | <p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進するとともに、自治会・町内会活動との連携をはかり地域活動の活性化を進めます。また、中区読書活動推進目標に基づき地域団体や民間事業者等と協働して区全体で読書活動を推進します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業（区民活動センター）（2,139千円）</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 街の先生活用・PR事業（5月実施）、中区民利用施設スタンプラリー（10～11月予定）、登録団体との連携講座（全6回 2回実施済）、なか区民活動センター祭り（11月予定）、なかく街の先生ガイド発行（3月）、街の先生と連携した地域支援の実施等</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行（隔月発行（全6回）1000部／回） 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援（毎月2回）</p> <p>(2) 生涯学習事業（220千円）</p> <p>ア 人材育成講座「区民企画型講座」（全6回 2回実施済）</p> <p>イ 街歩き講座「中区タウンピクニック」（9、12、8年2月）</p> <p>(3) 文化活動支援事業（80千円）</p> <p>共催・後援等による文化活動の支援</p> <p>(4) 読書活動推進事業（267千円）</p> <p>ア 読書関連施設等との連携 読書活動推進連絡会（8月、書面開催） なか区ブックフェスタの開催（11月～12月）</p> <p>イ 地域団体と連携した読書啓発イベントの開催（11月15日）</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策9 | 施策4 | |
|  | | |
| フラワー&グリーンフェスタ チラシの様子 | | |
| 予算額 | 2,786千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 8 にぎわい・魅力アップ事業 | | <p>中区民の交流と調和による地域連帯の醸成と、区民の健康増進を目的に中区民祭り「ハローよこはま2025」を開催します。また、地域への愛着や誇り、ふるさと意識の醸成を図ることを目的に「中区って『イイネ!』フォトコンテスト」を実施します。</p> <p>(1) 中区民祭り「ハローよこはま2025」(4,000千円)【拡充】 開催にあたっては、区内在住者・在勤者・在学者が広く自主的に参加できるイベントとすることで、区内の様々な団体・関係者の連携強化を図ります。また、区制100周年や「GREEN×EXPO 2027」に向けた機運醸成にも取り組むなど中区の魅力や活力を広く発信します。さらに、区内外の様々な企業・団体とも連携し、区外からの来街者も楽しめる賑わいあるイベントとします。 ア 開催日：11月9日(日)10時～16時 イ 会場：象の鼻パーク</p> <p>(2) 中区って『イイネ!』フォトコンテスト(830千円)【拡充】 観光マップでは見ることができない、「私のまちにある」「わたしのまちから見える」行事や風景、人物(地域活動の様子)など、中区の魅力を捉えた写真を募集します。 また、入賞作品の展示等を行い、中区の魅力を積極的にPRします。 ア 応募期間：7月～8年1月 イ 応募資格：横浜市中区にお住まいの方、お勤めの方、通学している方、愛着のある方 ウ 応募部門：小学生以下部門、中高生部門、一般部門 エ 表彰式・展示：8年3月</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策9 | 施策2 | |
|  | | |
| 中区って『イイネ!』 フォトコンテスト2025チラシ | | |
| 予算額 | 4,830千円 | |
| 所管課 | 地域振興課 | |

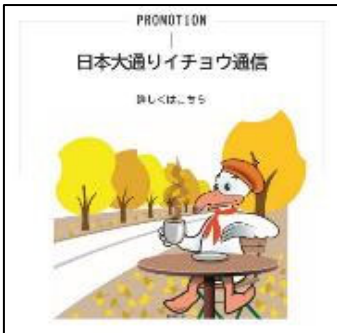
| 事業名 | | 事業内容 |
|---|-----------------------|---|
| 9 都市間交流事業 | | <p>横浜のシティプロモーションの推進、地域経済の活性化及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげるため、国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信します。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市：友好交流協定（平成26年3月締結） 平成25年3月に飯能市との間で鉄道相互直通運転が開始されたことを契機に、友好交流協定を締結。両都市で行われる地域イベントへの参加等を通じて、相互PRに取り組みます。 (5月19日：第1回協議会 5月24日25日：飯能新緑ツーデーマーチ)</p> <p>(2) 群馬県嬬恋村：友好交流協定（平成28年2月締結） 嬬恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰を契機に、友好交流協定を締結。5月には嬬恋村役場及び中居屋重兵衛顕彰会による中区役所への表敬訪問がありました。7年度はつまごい祭りが中止のため、ハローよこはまにて、友好交流のPRに取り組みます。</p> <p>(3) 山形県米沢市：友好交流（平成24年交流開始） 啓翁桜の植樹を契機に交流開始。市役所アトリウムでの観光物産展（6/24、/25開催、1,500名来場）等を通じてPRに取り組んでいます。</p> <p>(4) 岩手県釜石市：友好交流協定（平成26年3月締結） 中区職員有志が釜石市の復興支援を行う「横浜支援隊」の活動を契機に、友好交流協定を締結しています。</p> <p>(5) 仁川広域市中区：友好交流協定（平成22年3月締結） 本市と仁川広域市とのパートナー都市協定締結を契機に、区同士の友好交流協定を締結しています。</p> <p>※その他の交流 沖縄県宜野湾市（少年野球交流、5月10日）</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策22 | 施策3 | |
|  | | |
| 飯能市及び横浜市中区のマスコットキャラクター | | |
| 予算額 | 671千円 | |
| 所管課 | 総務課 区政推進課 地域振興課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|-----------------------|--|
| 10 中区制100周年(2027)記念事業★ | | <p>令和9年の区制100周年に向け、令和7年3月に「中区制100周年記念事業実行委員会」を設立しました。</p> <p>区民の皆様と中区の価値を改めて確認し、地域愛を醸成し、さらに中区をPRし、持続的なまちづくりにつなげていきます。区を挙げた庁内外への機運醸成を図るため、記念行事等の実施、広報・プロモーション活動、関係イベント等の事業検討を行います。また、同年開催されるGREEN×EXPO 2027とも連携しながら進めます。</p> <p>(1) 中区制100周年記念事業実行委員会の開催(500千円)</p> <p>令和7年3月に区民・団体・事業者・行政等の代表者からなる「中区制100周年記念事業実行委員会」が設立しました。</p> <p>「総務部会、広報・企画・GREEN×EXPO 2027連携部会、事業部会」の3つの部会を中心に各種記念事業について検討を行います。</p> <p>第1回部会開催日</p> <p>ア 総務部会：7月18日</p> <p>イ 広報・企画・GREEN×EXPO 2027連携部会：7月8日</p> <p>ウ 事業部会：7月16日</p> <p>(2) 機運醸成のための取組(1,500千円)【拡充】</p> <p>ア 区制100周年を多くの皆様に周知できるよう、PRポスターを作成しました。</p> <p>イ 中区民祭り「ハローよこはま2025」の機会等を捉え、機運醸成に繋がるイベントを実施し、多くの皆様に区制100周年を知っていただく機会を提供します。</p> |
| 横浜市中期計画2022～2025 | | |
| 政策99 | 施策99 | |
|  | | |
| 中区制100周年PRポスター | | |
| 予算額 | 2,000千円 | |
| 所管課 | 総務課 区政推進課 地域振興課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|--|--|
| 11 GREEN×EXPO 2027 に向けた脱炭素 チャレンジ事業★ 【新規】 横浜市中期計画2022～2025 | | GREEN×EXPO 2027の開催とその先の脱炭素社会の実現に向け、区民が環境を意識するきっかけとなるような取組を実施します。また、環境を開催テーマの一つとする、T I C A D 9のプロモーションも合わせて実施しました。 (目標値：市政に対する脱炭素の取組の満足度(中区在住者)：5年度9.6%→9年度20%) ※横浜市市民意識調査 |
| | 政策18 | 施策5 |
| |  <p>廃食用油回収の様子</p> | |
| | 予 算 額 | 1,520千円 |
| | 所 管 課 | 区政推進課 |
| | | <p>(1) 生ごみコンポスト化事業(500千円) 各家庭でたい肥づくりができるバッグ型コンポストを区民に配布しました。(7月～10月 24名)完成したたい肥を活用し、横浜公園で協働の球根植え付けイベント(11月)を実施します。また、山元小学校(2年生28名)、間門小学校(3年生99名)にバッグ型コンポストを配布し児童が給食の残渣等を活用したたい肥づくりを実施します。</p> <p>(2) 民間事業者等と連携した脱炭素啓発(200千円) 民間事業者等と連携し、「都市型農業」(5月24日 保護者・子ども含め35人)「アフリカの環境問題」(8月19日 保護者・子ども含め25人)「エネルギー」(10月18日)などの脱炭素・環境につながるテーマやT I C A D 9の機運醸成に資するテーマを題材とした主に中学生向けの啓発講座等を実施しています。</p> <p>(3) 中区SDGsマルシェ(400千円) 毎月1回のマルシェの開催を通じ、エコバッグの推奨や地産地消を通じた、身近な環境行動の啓発を行います。また、民間事業者と連携し、家庭の廃食用油をマルシェ会場で年4回程度、定期的に回収し、持続可能な航空燃料(SAF)に変える取組を実施します。</p> <p>(4) チューリップであふれるまち事業(420千円) 自治会町内会等へ球根の配布を通じて、区の花チューリップの認知度向上及びGREEN×EXPO 2027のプロモーションを図ります(11月)</p> |

5 区民目線で行動する区役所づくり

| 事業名 | | 事業内容 |
|--|----------|---|
| 1 区役所サービス 環境向上事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策99 施策99  令和6年度人権啓発講演会 | | 区民に寄り添った行政サービスを提供することにより、行政サービスに対する満足度向上を目指します。また、来庁者にとってより利用しやすい庁舎となるよう環境改善を進めるとともに、デジタル化の推進による執務環境の向上にも取り組み、持続可能な区役所運営を図ります。 |
| | | (1) 人権啓発事業 (647千円) ア 人権が尊重される社会構築に向け、人権擁護委員とも連携しながら、区民を対象にした人権啓発講演会を開催します。 (年1回 10月～11月) イ 職員の人権意識の向上を図るため、外部講師等による人権研修を継続して実施します。(全体研修6月25日、7月1日計2回実施済、グループ研修7～8年1月 計40回) |
| | | (2) 区役所満足度向上事業 (14,309千円) ア 顕著な活動を行った区民を顕彰するとともに、行政サービスに対する満足度の向上を図るため、職員を対象にCS向上研修等を実施します。(9月～10月 計2回実施予定) イ 利用者の利便性、安全性向上に向け、総合案内スタッフと連携し、警備や案内を行います。 ウ 音声をリアルタイムに認識し、アクリル板などに字幕として表示できる「窓口字幕システム」を引き続き運用します。 |
| | | (3) ワークモチベーション向上事業 (867千円) ア 区で使用している持ち出し用端末を、一元管理できるセキュリティソフトウェアにより管理することで、安全性を確保し、適切に運用します。 イ 職員が主体となり、研修企画や庁舎内環境の改善等について実施しながら、課を超えた職員の繋がりづくりを促進します。 |
| 予算額 | 15,823千円 | |
| 所管課 | 総務課 | |

| 事業名 | | 事業内容 |
|---|---------|---|
| 2 広報・案内事業 横浜市中期計画2022～2025 政策99 施策99  日本大通りのイチョウの様子をホームページ及びSNSにて発信 | | 様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげていきます。また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるよう、総合案内窓口業務に専任のスタッフを配置します。 |
| | | (1) 広報相談事業 (1,564千円) ア 区ホームページでの区政情報発信 イ X(旧Twitter)及びLINEによるイベント情報等の発信 ウ 庁内職員のための広報研修 ・広報デザイン基礎研修(6月23日、参加者16人) |
| | | (2) 総合案内運営事業 (2,815千円) ア 1階総合案内に受付専任スタッフ(委託)を配置 イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ配架 ウ 1階ロビーのデジタルサイネージを使用した情報発信 |
| 予算額 | 4,379千円 | |
| 所管課 | 区政推進課 | |

令和 8 年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方（案）

令和 8 年度予算編成にあたっては、中区の特性や課題を改めて洗い出し、区民の皆様からの声も踏まえながら事業の検討を行っています。また、検討にあたっては、今後策定される市の基本計画の考え方も取り入れながら進めます。

地域防災や子ども・子育て支援、多文化共生などをはじめとした、区民の皆様の安心・安全な生活を支える施策にしっかりと取り組みます。

また、「GREEN×EXPO 2027」や同年の「中区制 100 周年」に向け、地域の皆様や関係団体の皆様と連携し、まちのにぎわいと活力の創出により一層取り組み、横浜の持続的な成長・発展につなげます。